

CD / LD プレーヤー

CLD-R7G

取扱説明書

パイオニアの製品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただく
ために、この取扱説明書を本機ご使用前に最後までお
読みください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読み
ください。

お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理
窓口のご案内」と一緒に保存してください。使用中にわ
からないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたち
ます。

業務用には対応していません。



目次

安全上のご注意	2	操作 前 の 準 備
正しく、未永くお使いいただくために	3	
特長	4	
用語	5	
本機で再生できるディスクの種類	6	
付属品を確認してください	7	

接続のしかた	8	接 続
音声 / 映像入力端子のある AV テレビを使用する場合 ...	8	
VTR と組み合わせて使用する場合	9	
音声をより良い音質で再生したい場合は	9	

各部の名称	10	基 本 操 作 編
前面部	10	
リモコン	10	
表示窓	11	
LD を見る	12	
CD を聞く	13	
今より前 (後) を見る / 聞く	14	
見 / 聞き終わったら	16	
つづきから見る (LD)	17	

トリック再生	18	応 用 操 作 編
映画ディスクを楽しむ	19	
画質調整とメモリー	20	
LD / CD グラフィックスを楽しむ	22	
音声を切り換える	24	
見たい (聞きたい) ところを探す (スキャン)	25	
見たい場面を探す (サーチ)	26	
繰り返して見る・聞く (リピート再生)	27	
希望の順番に並び換えて再生する (プログラム再生) ...	28	
プレーヤーの選ぶ順番で再生する (ランダム再生)	30	
情報を見る	31	

故障? ちょっと調べてください	32	そ の 他
お手入れ	34	
保証とアフターサービス	35	
仕様	35	

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



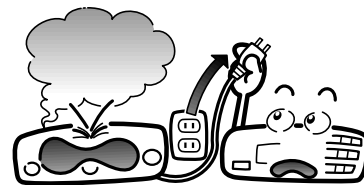
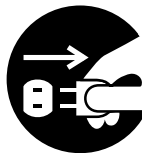
→ 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意

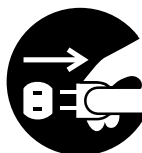
〔異常時の処置〕

警告

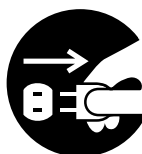
万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



正しく、末永くお使いいただくために

再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出し、▲ オープン/クローズボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから、電源ボタンを「切」にし、表示窓の「-OFF-」が消えてから電源コードを抜いてください。

設置する場所

組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの側の安定した場所を選んでください。
ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

この他、次のような場所は避けてください。

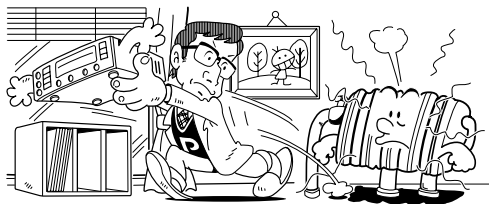
直射日光のあたる所
湿気の多い所や風通しの悪い所
極端に暑い所や寒い所
振動のある所
ほこりの多い所
油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

重いものを乗せない

本機の上に重いもの（例えばテレビ、アンプ）をのせないでください。

熱を受けないように

アンプなど、熱を発生する機器の上のにせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。



ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたままリモコンのオープン/クローズボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

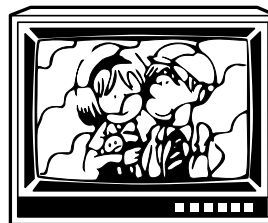
結露について

冬季などにプレーヤーを寒いところから温かい室内に持ち込んだり、プレーヤーを設置した部屋の温度を暖房などで急ぐ上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きやすくなります（結露）。結露したままではプレーヤーは正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、プレーヤーの電源を入れて1~2時間放置し、プレーヤーの温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもクーラーやエアコンの風が、プレーヤーに直接あたると結露がおこることがあります。その場合はプレーヤーの設置場所を変えてください。



本機を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。



静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを1度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

特 長

1. CD/LD プレーヤー

本機は、30cmのレーザーディスク（LD）から、8cmのコンパクトディスク（CD）まで、アダプターなしで再生できるCD/LD プレーヤーです。

2. つづき再生機能  P.17

本機は、LDの再生を中断したあと、そのつづきから再生ができる、つづき再生機能があります。また、中断前のあらすじを再生してから、つづき再生をすることもできます。

3. 両面再生機能  P.12

本機は、両面再生ディスクの両面を連続して再生できます。ディスクを裏返す必要がありません。そのうえ、クイックターン機能により再生までの開始時間を短縮し、A面からB面、B面からA面に連続再生するときの反転時間も短くできます。

4. 特殊再生機能  P.18

映像回路の8ビットデジタルメモリーを搭載により、長時間ディスク（CLV）でも高画質で多彩なトリックプレイが楽しめます。

5. ドルビーデジタルRF出力（AC-3）端子付き  P.9

本機は、ドルビーデジタル 、 に対応しています。ドルビーデジタルRF入力のあるアンプやサラウンドプロセッサーと接続し、ドルビーデジタル対応LDソフトを使用すると、5.1chデジタルサラウンド音声を楽しむことができます。

* ドルビー、DOLBY、AC-3およびダブルD記号はドルビーラポラトリーズの商標です。

6. 3次元デジタルYC分離回路

本回路は直前の一画面をメモリーして、現在の画面と比較することにより3ラインYC分離（2次元）に対してドット妨害やクロスカラーを少なくし、水平・垂直のみならず斜方向の解像度も損なわないYC分離を実現しています。

7. 3次元デジタルNR  P.20

LDのソフトにはノイズが目立つもの、色むらの目立つものなど、もともとディスク（ソース）が持っている画質があります。これらのノイズ、色むらを効果的に低減させる3次元デジタルNRを搭載しました。また、お好みに合わせて輝度（明るさ）と彩度（色のノイズ）それぞれ独立に効果を可変できます。もちろん、デジタル処理ですから本来のクオリティをなくすことはありません。

8. D-EXT  P.19

外乱ノイズに対する水平同期と垂直同期の安定性を増すため、通常の黒を真の黒より少し明るく設置することをセットアップと言います。しかしこれらにより画質的には映像信号のダイナミックレンジを狭め、SN比を劣化させることになります。特に暗部階調表現に支障をきたし、黒が真黒に沈みきらず、画面全体が白っちゃけた雰囲気になります。


現在、日本で市販されているレーザーディスクはほとんどがセットアップ付きであり、セットアップなしは画面を重視するごく一部のディスクに限られています。

D-EXT回路は、セットアップをなくして黒を真黒にするもので、Y信号（S端子）とコンポジット信号（ピンジャック）のそれぞれに設けられています。

セットアップなしディスクの場合は“黒つぶれ”をおこしてしまうため、この動作をオフにする必要があります。

注意：

コンポジット出力でD-EXTをオンにすると輝度信号と共に色信号も伸張してしまうので、AGCのないモニター等で見ると色が濃くなる場合があります。S端子出力では輝度信号のみを伸張するので、そのようなことはありません。また、D-EXTをオンすると、使用するテレビによっては静止画面に画面がちらつくことがあります。故障ではありません。

9. 「LD/CD」グラフィックス対応サブコードデコーダーを搭載  P.22

LDやCDの再生に加え、サブコードグラフィックス対応ディスクが楽しめます。シナリオディスクでは、映画の台詞を表示することができ、語学の勉強などに便利です。

10. 多彩なスキャン/サーチ機能  P.25  P.26

本機は、ディスクの内容をすばやく知りたいときに便利なスキャン機能を、通常スキャンに加えて、各チャプターの頭の8秒間を次々に再生するイントロスキャン、各トラックの頭から1分後の8秒間を次々に再生するハイライトスキャンの、4種類装備しています。

また、再生する箇所を指定するときに便利なサーチ機能は、チャプター/トラックナンバーで指定するダイレクトサーチ、フレームナンバーで指定するフレームサーチ、およびタイムナンバーで指定するタイムサーチの、3種類装備しています。

11. くり返し機能  P.27

本機は、CD、LDともに指定した場所に戻るリピート再生、指定した区間を繰り返し再生する2点間リピート再生、ディスクの片面を繰り返し再生する片面リピート再生、プログラムを繰り返し再生するプログラムリピート再生、ランダムリピート再生、そしてLDにはディスクの両面を繰り返し再生する両面リピート再生、1チャプターだけを繰り返し再生する1チャプターリピート再生、CDには1トラックだけを繰り返し再生する1トラックリピート再生を装備しています。

用語

LD (レーザーディスク)

レーザーディスクには、信号の記録方式により標準ディスク (CAV) と長時間ディスク (CLV) があります。

CAV

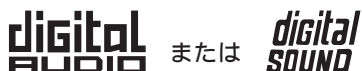
ディスクのジャケット、またはレーベルに「標準ディスク / CAV」、または「Standard Play」と表示されています。

CLV

ディスクのジャケット、またはレーベルに「長時間ディスク / CLV」、または「Extended Play」と表示されています。

デジタル音声付きレーザーディスク

アナログ音声信号に加えて、デジタル音声信号も合わせて記録されたディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。



デジタル音声付きマルチオーディオディスク

デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なる内容の音声記録されています。



デジタル音声、アナログ音声を切り換えて、それぞれの音声をお楽しみいただけます。

ドルビーデジタル (AC-3) ディスク

映画館用サラウンドシステム (Surround Digital) の6チャンネル分の音声をAC-3で圧縮されたデジタルデータが従来のアナログチャンネル (Rチャンネル) に記録されています。



ドルビーデジタル (AC-3) ディスクを楽しむには、本機のドルビーデジタルRF出力 (AC-3) 端子をアンプやプロセッサのドルビーデジタルRF入力 (AC-3) へ接続する必要があります。

CDV (ビデオ付きコンパクトディスク)

ビデオパート付きのCDです。CDVの再生時間、25分のうち20分に通常のCDと同じデジタルオーディオ音声記録されています (オーディオパート)。残りの5分に映像とデジタルオーディオ音声記録されています (ビデオパート)。

グラフィックスディスク

映像や音声信号以外にサブコードというデータが記録されています。このデータにグラフィックスが記録されています。LDグラフィックスディスク：サブコードに映画の台詞や歌の歌詞などが記録されています。

ディスクのジャケット、またはレーベルに



右のマークが表示されています。CDグラフィックスディスク：カラオケ用の歌詞やカラオケ演奏を盛り上げるグラフィックス (絵) などが記録されています。

ディスクのジャケット、またはレーベルに



右のマークが表示されています。

LD 用語

チャプターナンバー

ディスクをいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の「章」番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

ディスクによってはチャプターナンバーが記録されていないものもあります。

フレームナンバー

標準ディスクCAVのすべての画面 (フレーム) ごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー

長時間ディスクCLVに記録された、ディスクの最初からの再生経過時間です。CLVでは、希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

CDV/CD 用語

トラックナンバー

曲番号のことです。CDV ディスクではオーディオパートからビデオパートにわたってトラックナンバーが記録されています。希望の曲を素早く見つけるトラックサーチなどの操作ができます。

TOC

すべてのCD、CDVディスクには音声信号以外のTOC (Table Of Contents) という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。

LD ディスクにも TOC が記録されているものがあります。







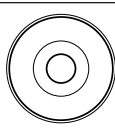
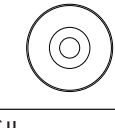
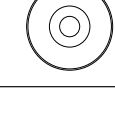
TOC 付き LD と CDVは、同じ「光学式デジタル音声付きビデオディスクシステム」の仲間です。

This laser disc player provides a Dolby Digital RF Output for laser discs recorded with Dolby Digital soundtracks. Dolby Digital decoders with a Dolby Digital RF Input can accept this signal directly.

本機で再生できるディスクの種類

本機は、CD / LD プレーヤーです。

- 下表に表示されたマークはディスクのレーベル、またはジャケットに付いています。
本機は、下記のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- 故障などを防ぐため、8cmアダプター（CD用）や20cmアダプター（LD用）は使わないでください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ / 再生面	最大再生時間	
 CD (CDグラフィックス)	CD 12 cm / 片面 	74分	
	CDシングル 8 cm / 片面 	20分	
 CDV CD VIDEO	CDV 12 cm / 片面 	デジタル音声 + 映像	20分 5分
 VSD VIDEO SINGLE DISC	VSD 12 cm / 片面 	デジタル音声 + 映像	5分
レーザーディスク  LASER DISC  LaserVision  LD CD VIDEO  LD-G LASER DISC GRAPHICS (LDグラフィックス)	LD 30 cm / 両面 	CAV	1時間
		CLV	2時間
	LD 20 cm / 両面 	CAV	28分
		CLV	40分
	LDシングル 20 cm / 片面 	CAV	14分
		CLV	20分

上記以外は再生できません。


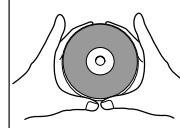


故障などを防ぐため、上記以外は再生しないでください。
 (例) DVD、ビデオ CD、CD-ROM、LD-ROM、ハイビジョン LD等

ご注意

ビデオ CD [ または ] 及び
 DVD [] は
 再生できません。

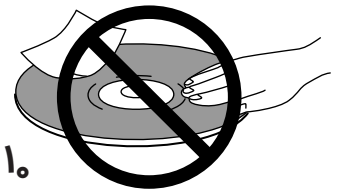
本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。他のテレビ方式（PAL、SECAM）のディスクは使用できません。

ディスクの持ちかた

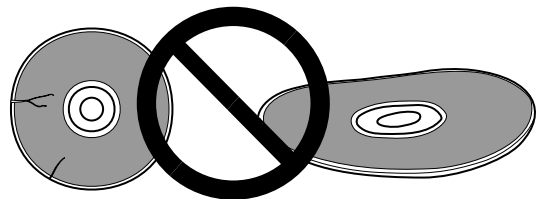
	LD	CD、CDV
両手で持つ場合 ディスクの両端をは さんで持つ。		
片手で持つ場合 中央の穴と外周部に 指をかけて持つ。		

⚠注意

紙などを貼らない。
 ディスク面に触れない。



ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない
 ディスクはプレーヤー内で高速回転します。ひびがはいつてしまったディスクや大きくそってしまったディスク、接着剤等で修復されたディスクは危険ですので、絶対に使用しないでください。また、レコードスプレー、静電気防止剤等は、ひび割れの原因になりますので使用しないでください。



ディスクの保管

ディスクは従来のアナログレコードと同様プラスチック製です。そらないように注意し、必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますので、置かないでください。ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

付属品を確認してください

オーディオコード	リモコンユニット	単4形乾電池(R03)...2本
ビデオコード		
電源コード		
		取扱説明書(本書) 保証書 「ご相談窓口・修理窓口のご案内」 安全上のご注意

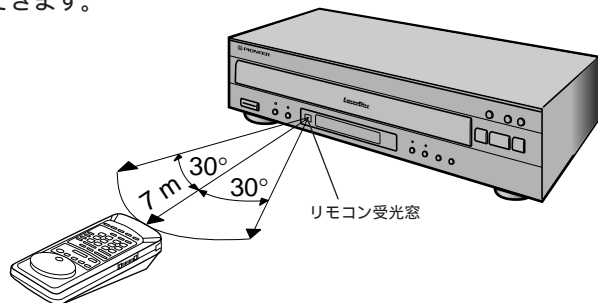
リモコンに電池を入れる

電池の入れかた	電池2本
裏ぶたをはずし、乾電池2個を正しく入れ、もと〔単4形乾電池(R03)〕どおりにふたをはめ込みます。	⚠ 電池についてのご注意 乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂などの危険があります。次の点について特にご注意ください。
裏ぶたを開けます。	電池の ⊕ と ⊖ の向きは、リモコン内部の表示に合わせて正しく入れてください。
	新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池は同じ形状のもので電圧の異なるものがありますから種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
	内部の表示(⊕、⊖)どおりに電池を入れます。
裏ぶたを元どおりに閉めます。	乾電池には充電式と充電式でないものがありますので、混ぜて使用しないでください。また電池の注意表示をよく見てご使用ください。電池の持続時間は、通常の使い方です約6ヵ月です。長い間(1ヵ月以上)リモコンを使わないときは、必ず電池を取り出しておいてください。万一、液もれが起きたときは、ケース内をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。
	リモコンの上に本などを置くとボタンが押されて電池が消耗してしまいますので、ご注意ください。

操作前の準備

リモコンの操作

リモコンはプレーヤー前面部のリモコン受光窓に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は7 m以内、またリモコン受光窓を基準にして左右30° までの範囲で操作できます。



リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。背面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合は、その機器のリモコン受光窓に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。(9ページ参照)

接続のしかた

お手持ちのテレビ（ビデオ）に合わせて下記より選んでください。

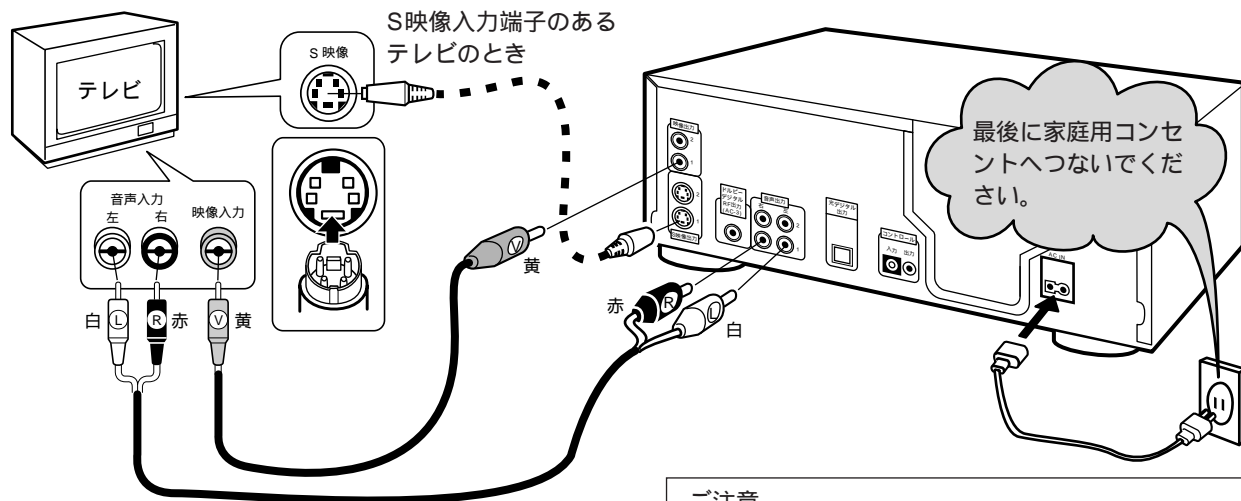
	お手持ちの機器	参照する図	コメント
映像入力のあるテレビ		図1	AVテレビに映像入力があるかまたは空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。
テレビとVTRが接続されている		図2	もし、テレビの映像入力が2～3系統あり、映像入力が空いているならば、図1の接続の方が便利です。

さらに、ステレオアンプやAVアンプ、ドルビーデジタルRF入力（AC-3）付きアンプなどと接続もできます。これらの機器とも接続する場合は図3を参照ください。アンテナ入力のためのテレビと接続するときは図1の下を参照ください。

⚠ 付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。

図1 音声 / 映像入力端子のあるAVテレビを使用する場合

端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続すると、容易に接続できます。映像入力が何系統あるテレビの場合、画面の選択をしてください。（ビデオ1、ビデオ2など）接続するテレビ（モニターテレビまたはVTR）の取扱説明書も合わせてご覧ください。



ご注意
 実線は付属のコードです。
 点線は別売のコードをご利用ください。

次のような場合には、右図のようにVTRなどの入力端子と接続してください。

テレビの入力端子がすでにVTRなどと接続されているとき
 アンテナ入力のためのテレビのとき

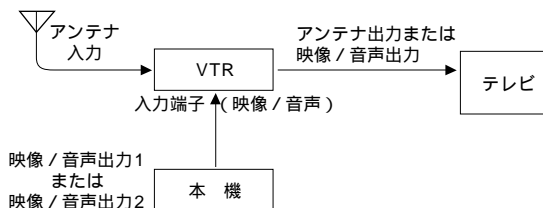


図2 VTRと組み合わせて使用する場合

端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続すると、容易に接続できます。

下記の接続では、LDを見る場合VTRの電源を入れ、VTRの入力を「外部入力」へ切り換えてください。そして、いつもVTRで見るようにテレビを操作してください。

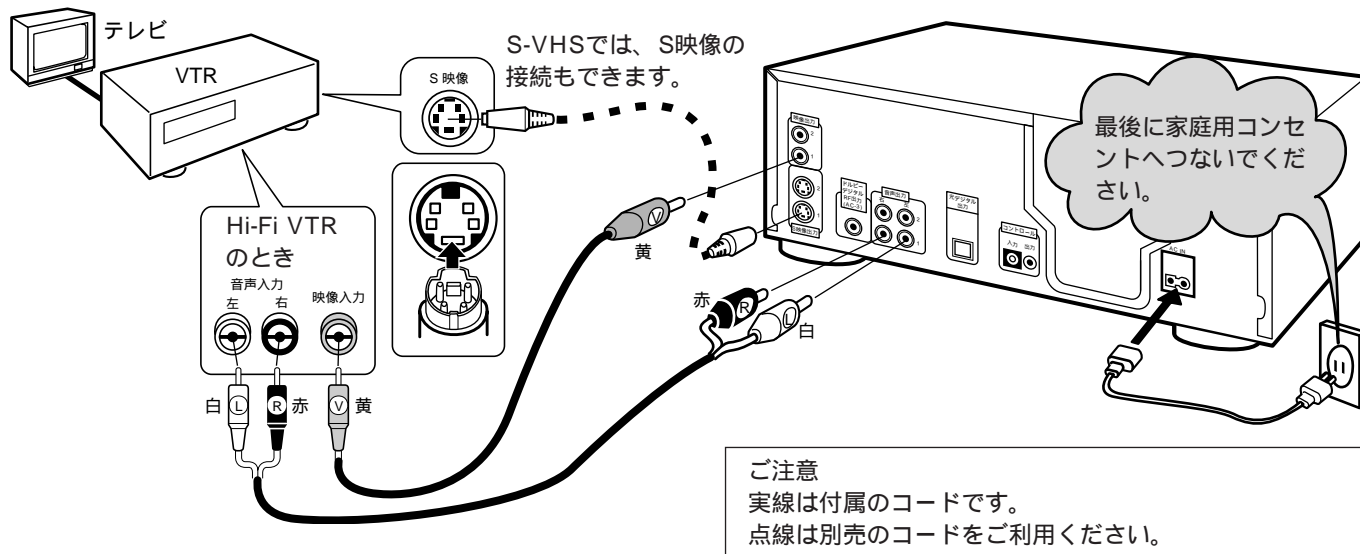


図3 音声をより良い音質で再生したい場合は

AVアンプやステレオアンプに接続すると、ディスクの音声をより良い音質で再生することができます。

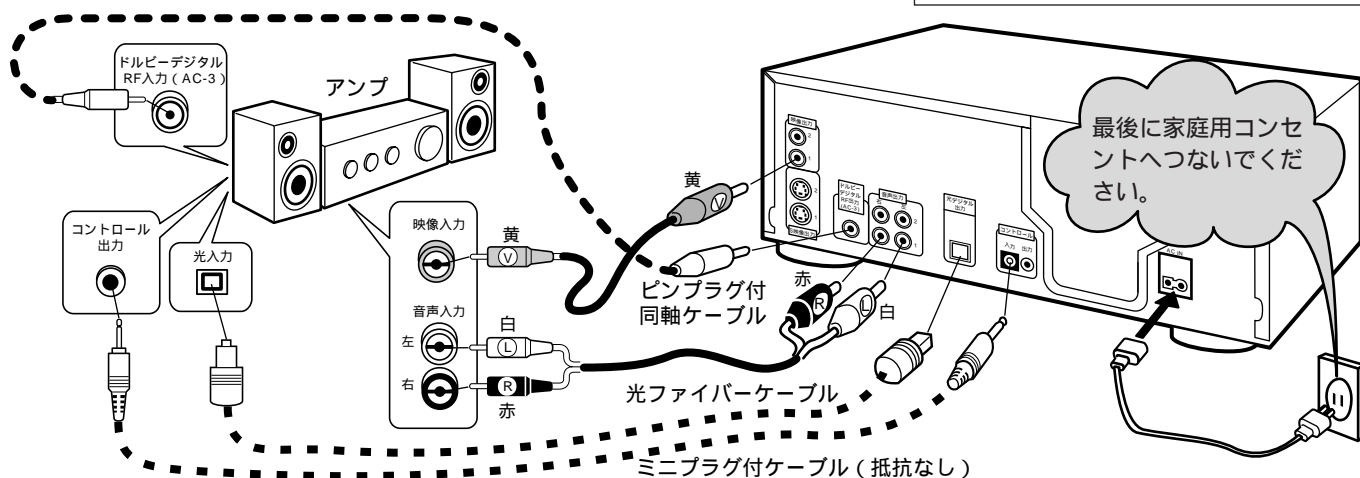
本機の音声出力端子とアンプのCD、LD、AUXなどの音声入力端子を接続します。

（PHONO端子には接続しないでください。）

本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。

本機のコントロール入力端子とアンプのコントロール出力端子を接続します。

ご注意
実線は付属のコードです。
点線は別売のコードをご利用ください。



ドルビーデジタルRF出力 (AC-3) 端子について

ドルビーデジタル (デジタルマルチ音声フォーマット) 対応の出力端子です。ドルビーデジタルRF入力 (AC-3) のあるアンプやサラウンドプロセッサと接続し、ドルビーデジタル対応のLDソフトにより再生できます。

ドルビーデジタルに対応していないLDソフト、AVアンプ等では再生できません。

通常のステレオアンプ、AVアンプ等の音声入力端子には接続しないでください。

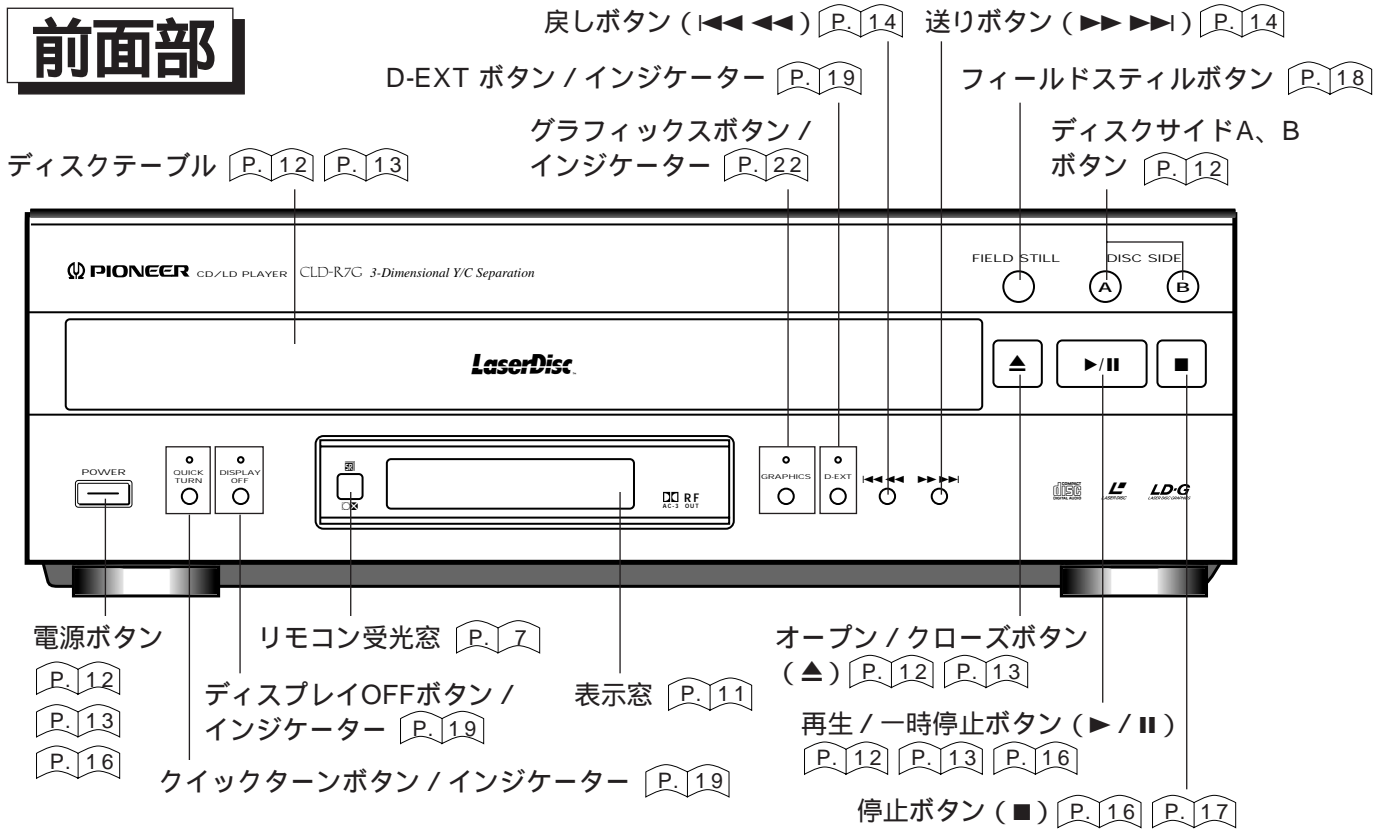
パイオニアの マーク付きの機器と接続する場合は市販のミニプラグ付ケーブル (抵抗なし) を使って、本機のコントロール入力端子と マーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。

システムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。

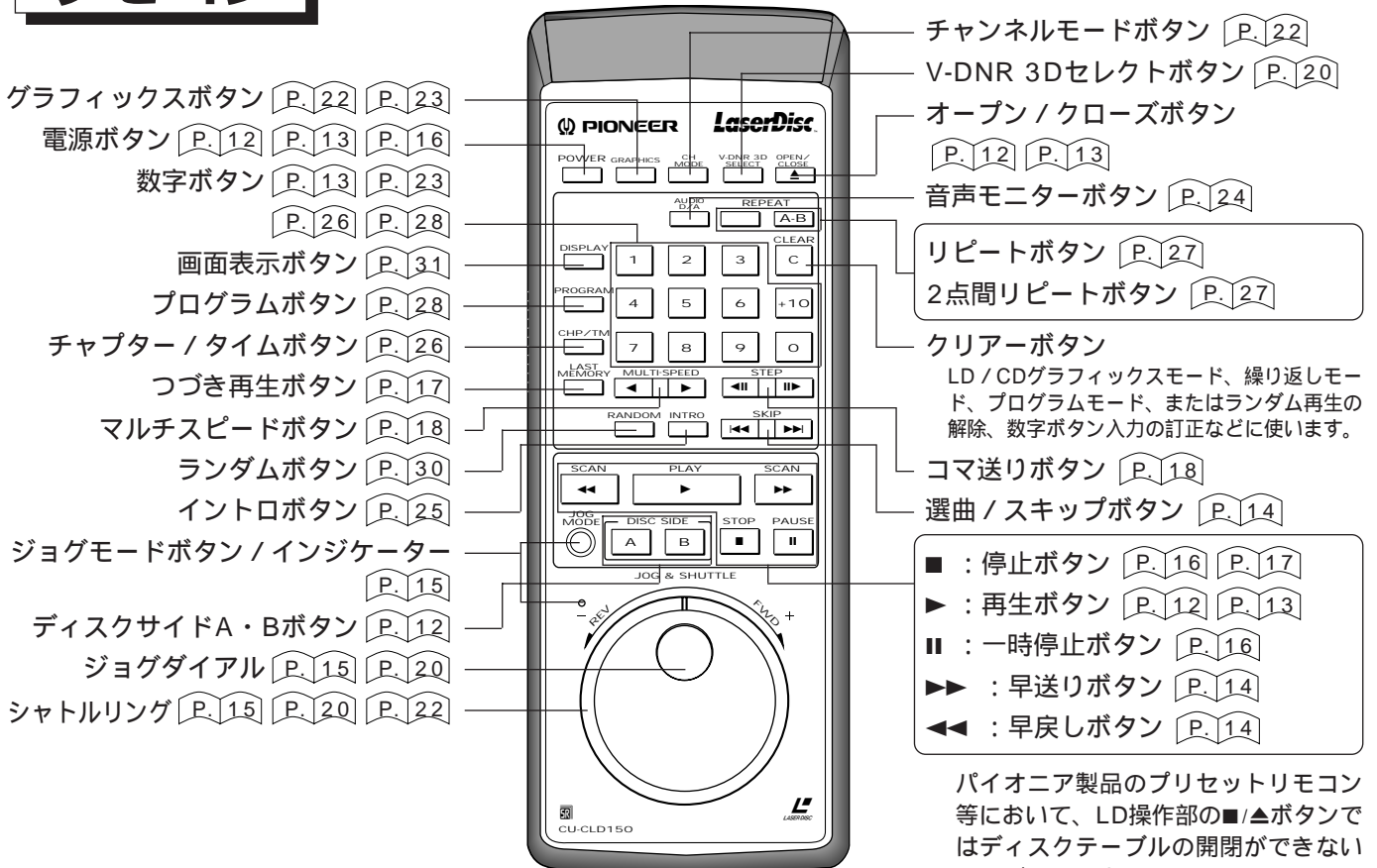
詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

各部の名称

前面部

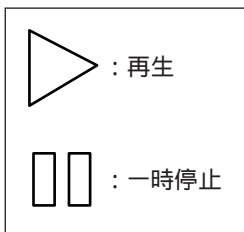
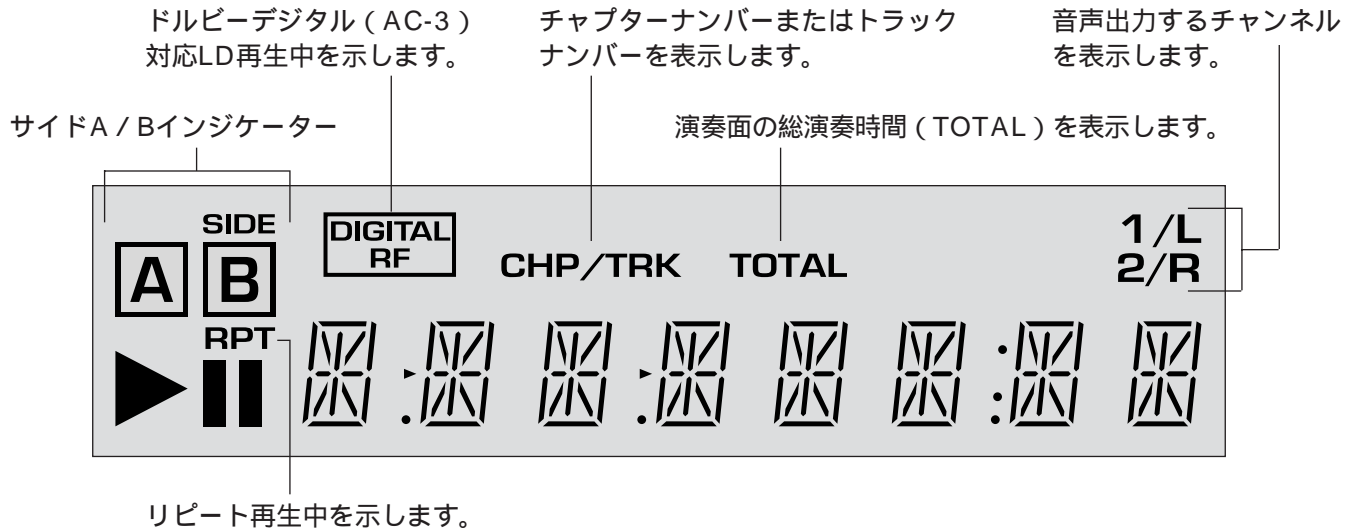


リモコン



パイオニア製品のプリセットリモコン等において、LD操作部の■/▲ボタンではディスクテーブルの開閉ができないものがあります。

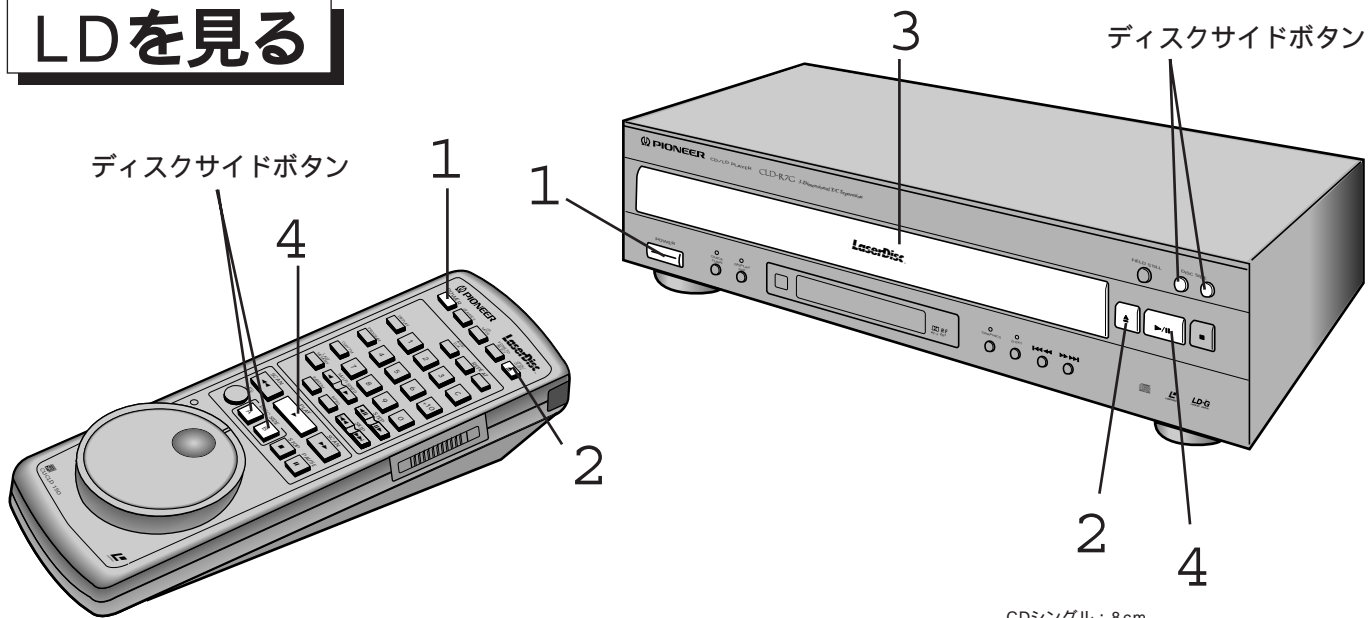
表示窓



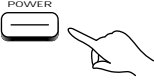
操作時の機能などが表示されます。

OPEN	: ディスクテーブル開く 動作中	A -- B	: 2点間リピート再生
CLOSE	: ディスクテーブル閉じる 動作中	SIDE	: 片面リピート再生
PLAY	: 再生開始	-- OFF --	: 電源を切る
END	: LDの終了	L II	: レーザーディスク
INTRO	: イントロスキャン	[II	: コンパクトディスク
HILITE	: ハイライトスキャン	[II V	: ビデオ付き コンパクトディスク
ALL	: 両面リピート再生	NO II SC	: ディスク無し


LDを見る



- ## 1 電源を入れる。



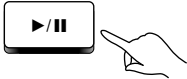
- ## 2 ディスクテーブルを開ける。



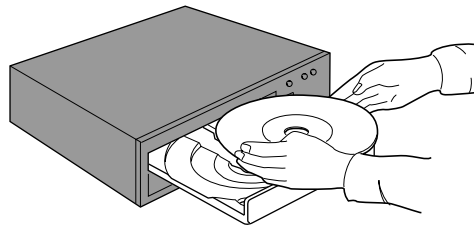
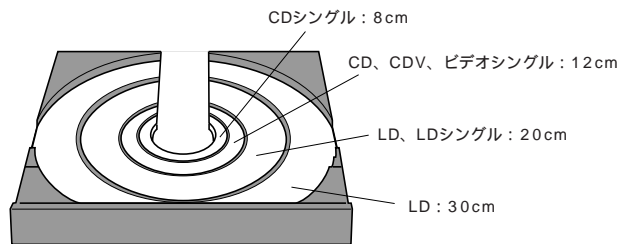
- ## 3 ディスクを置く。

LDの片面ディスクはレーベル面を上、両面ディスクは見たい面を上にして、ディスクのガイドに合わせて置きます。

- ## 4 再生を始める。



LDの両面ディスクでは、A面を再生中にA面の最後まで再生すると自動的にB面に反転し、B面を再生します。



A面、B面を指定して再生するには

LDの両面ディスクでA面とはディスクテーブルに置いたときの上側をさし、B面は下側をさします。ディスク自体に記録されたA面、B面とは異なります。

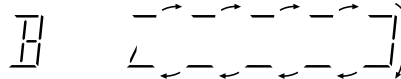
たとえば、SIDE Aと書かれたレーベル面を上にして置きA面だけを再生するには、再生▶ボタンを押さずにディスクサイドAボタンを押します。A面を再生後、停止します。B面だけを再生するには、再生▶ボタンを押さずにディスクサイドBボタンを押します。B面を再生後、停止します。

SIDE Bと書かれたレーベル面を上にして置くと、AボタンでB面、BボタンでA面を再生します。

面が変わるときの表示窓

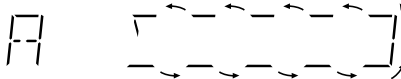
A面からB面へターン中

SIDE
B



B面からA面へターン中

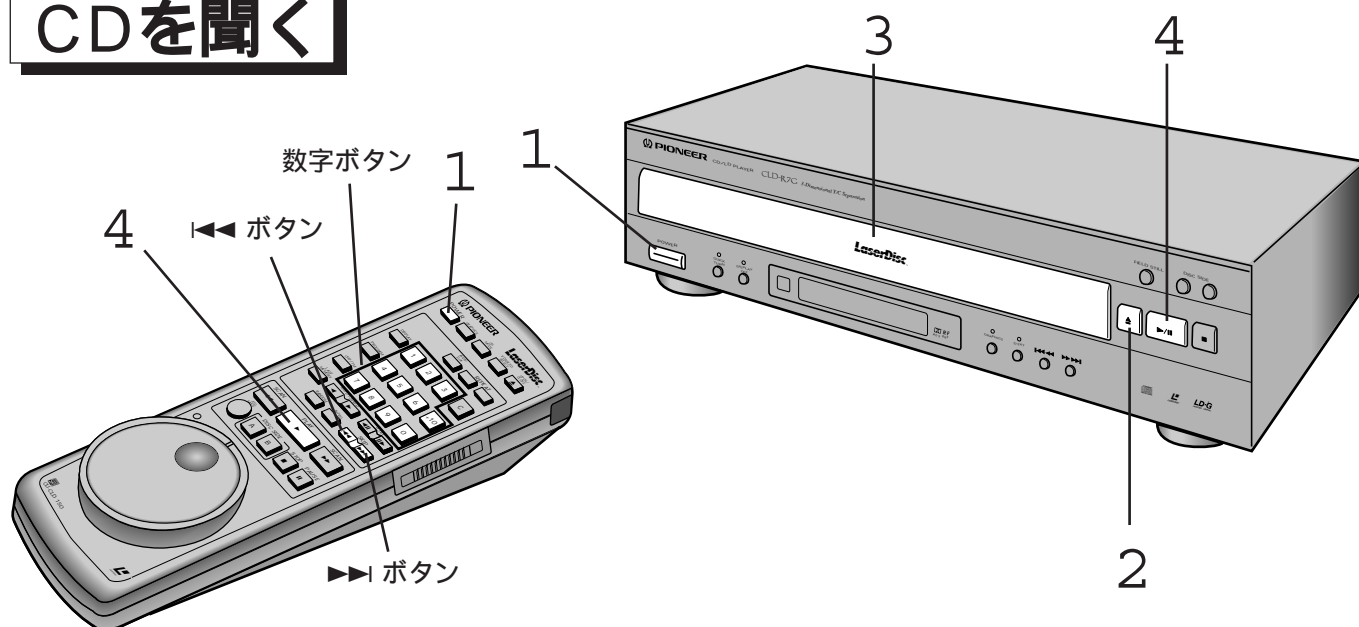
SIDE
A



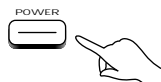
ディスクセットのご注意

ディスクテーブルの溝からずれてディスクをセットしたり、一度に2枚のディスクをセットすると正しく演奏できないばかりか、ディスクを傷つけたり故障の原因となります。また、ディスク以外のものをディスクテーブルにのせないでください。

CDを聞く



1 電源を入れる。



2 ディスクテーブルを開ける。



3 ディスクを置く。

レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

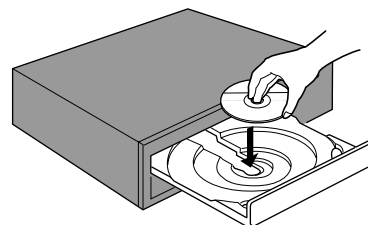
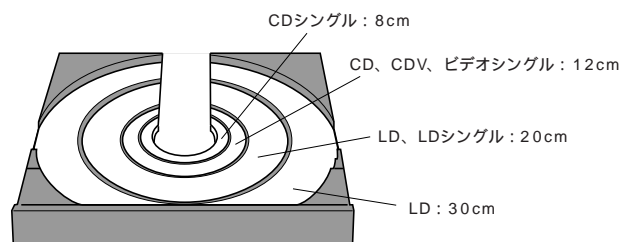
4 再生を始める。



聞きたい曲を選ぶには▶▶▶ ボタン、◀◀◀ ボタン、数字ボタンを押してください。

トラックナンバーが10以上のときは：
+10や0ボタンを使います。

〔例〕 17のとき：+10 — 7
30のとき：+10 — +10 — +10 — 0



CDVは映像（ビデオパート）から始まります。

便利な機能

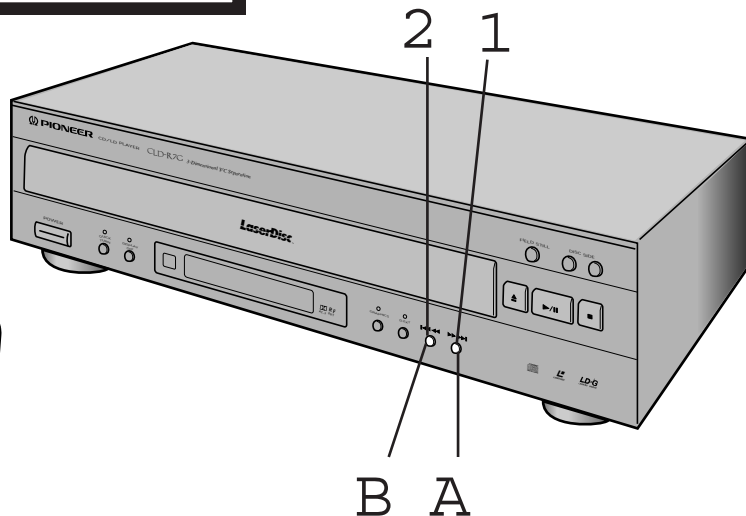
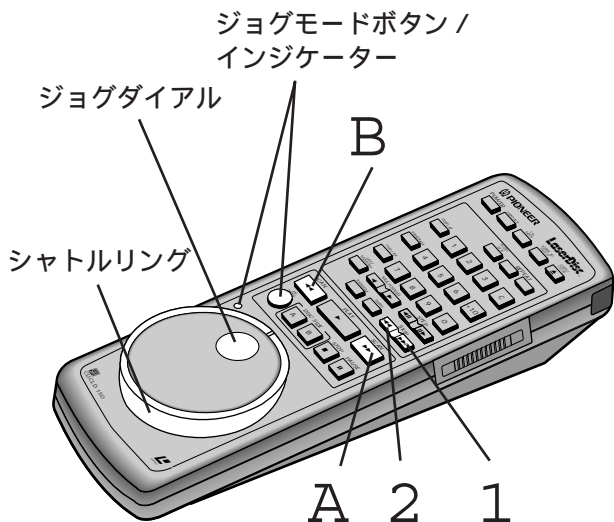
オートパワーオン機能

電源が「切」のときに、ディスクテーブルを出したい場合、電源ボタンを押さなくても、前面の▲オープン/クローズボタンを押せば自動的に電源が入り、ディスクテーブルが出てきます。

ディスクを入れたまま電源を切った場合は、前面の再生▶ボタンを押すと、自動的に電源が入り再生を開始します。

以上の機能はリモコンのボタンでは操作できません。

今より前（後）を見る／聞く



チャプター／トラックを飛ばす

1 次のチャプター／トラックを見る（聞く）とき



押した回数だけ次のチャプター／トラックに進みます。

2 現在のチャプター／トラックの頭から見る（聞く）とき



さらに押すと前のチャプター／トラックに戻ります。

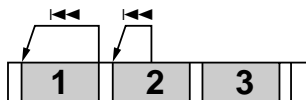
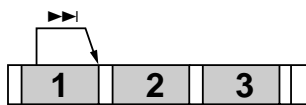
WHAT?

チャプターって何？

LDでは、いくつかのセクションを区切って番号付けたものをチャプターと呼んでいます。

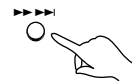
CDでは、同様の区切りをトラックと呼んでいます。この操作は次の曲へ移るのと同じことです。

本体では、押し続けると、早送り／早戻しします。



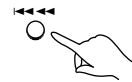
早送り／早戻し

A 今より少し先を見る（聞く）ときは



▶▶ ボタンを押し続け、目的のところまできたらボタンを離します。続きを再生します。

B 今より少し前を見る（聞く）ときは



◀◀ ボタンを押し続け、目的のところまできたらボタンを離します。続きを再生します。

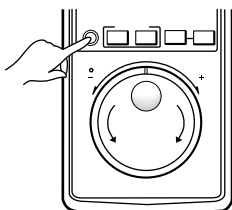
ご注意

ディスクによってはチャプターが記録されていないものがあります。その場合、チャプター／トラックを飛ばすことはできません。

今より前（後）を見る / 聞く

ジョグダイヤルを使って

画面を1コマずつ送って見たいときや、細かい頭出しをするときに便利です。



再生中にジョグモードボタンを押して（インジケータ点灯）ジョグダイヤルを回す。

再生中でも、ダイヤルを少し回すと静止画再生になります。

右に回すと送り方向、左に回すと戻し方向に送ります。ゆっくり回すと1コマずつ変わります。

1秒間に約5回転以上回すと通常再生と同じ速さ（送り方向、または戻し方向）になります。

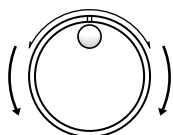
通常の再生に戻すには再生ボタンを押す。

リモコンのジョグモードボタンはジョグダイヤルを使わないときはオフにする：

ジョグモードボタンは、ジョグダイヤルを操作しなくなってから約5分で自動的にオフになりますが（ジョグモードインジケータ消灯）、リモコンの電池の消耗を防ぐためにジョグダイヤル操作後はジョグモードボタンを押してオフにしてください。

シャトルリングを使って

早送り再生、早戻し再生などの操作が、シャトルリングを回すだけで自由に選ぶことができます。

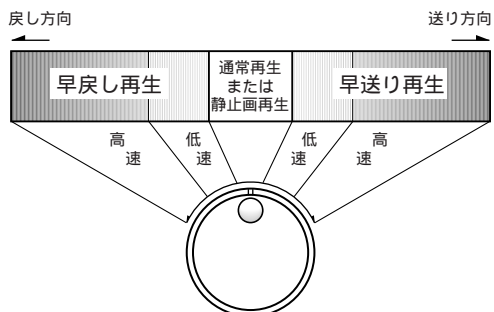


シャトルリングを回す

再生速度を選びます。

シャトルリングから指を離すと、中央の位置に戻ります。

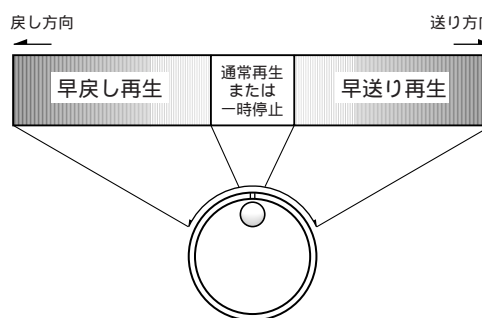
LD、CDV（ビデオパート）では



シャトルリングを再生中に操作した場合は、リングを中央に戻すと通常再生になります。

一時停止または静止画再生（18ページ）中にシャトルリングを中央に戻すと静止画になります。

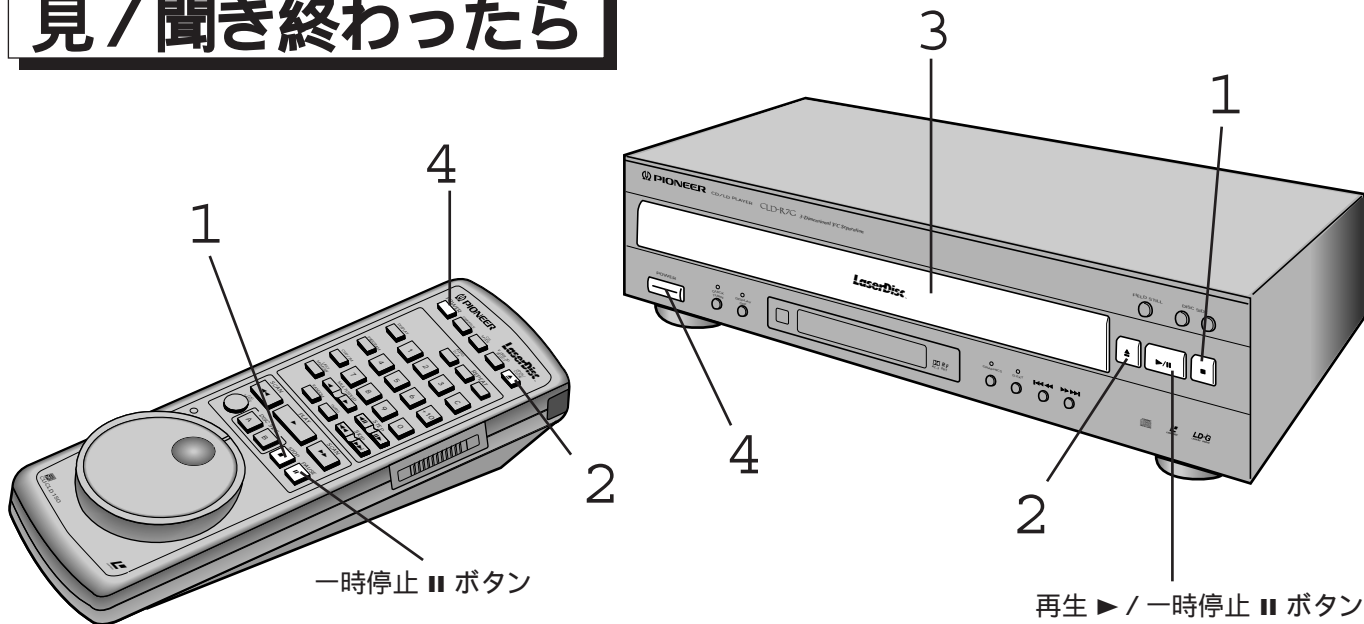
CD、CDV（オーディオパート）では





シャトルリングを再生中に操作した場合は、リングを中央に戻すと再生になります。

また、一時停止中に操作した場合は、リングを中央に戻すと一時停止になります。

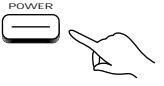
見 / 聞き終わったら

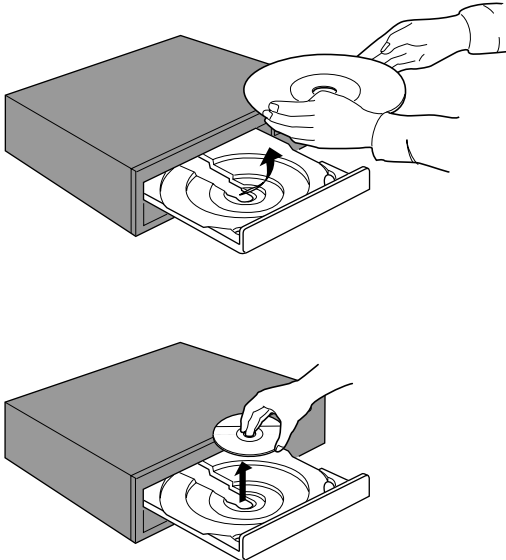


- 1 再生を中止する。 

- 2 ディスクテーブルを開ける。 

- 3 ディスクを取り出す。

- 4 電源を切る。 
 ディスクテーブルが閉まり、電源が切れます。

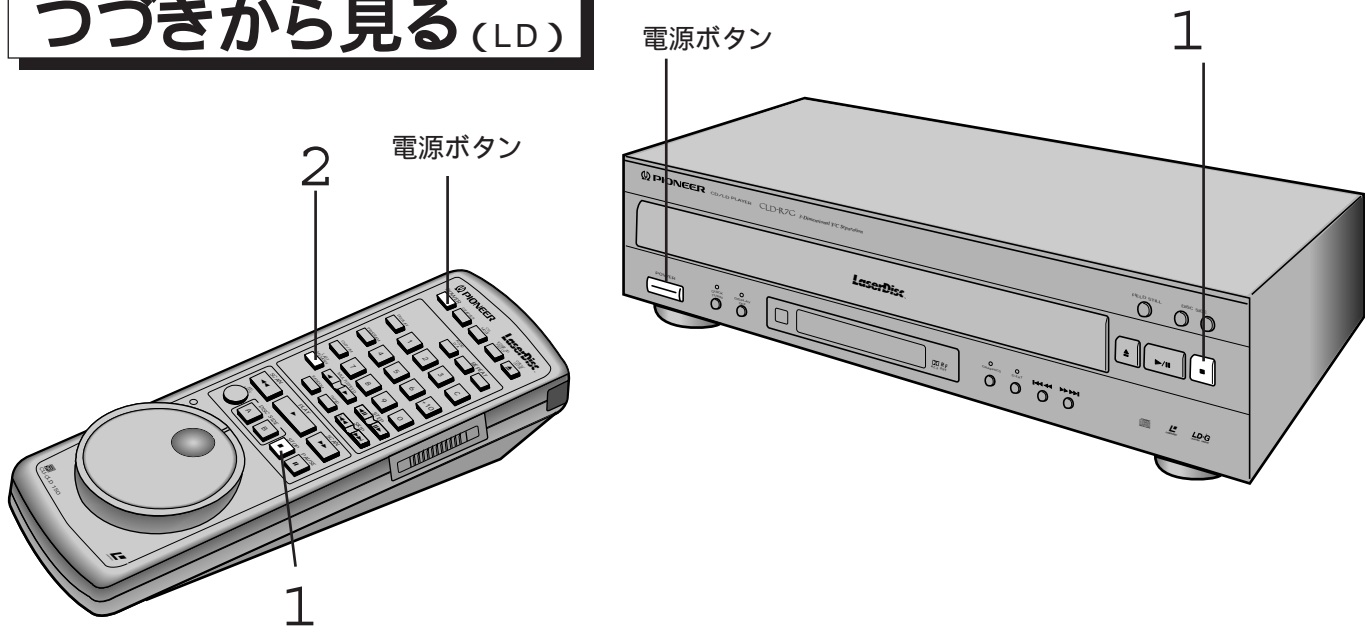


再生を一時止めるには (||)
 一時停止 || ボタンを押します。音が消え、表示窓に||が表示されます。もう一度、一時停止 || ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
 LDでは、静止画になります。
 長時間、一時停止状態のままにしておくと、モーター寿命を縮める原因となりますので、LDでは約20分間一時停止状態が続くと自動的に停止します。(ポーズタイマー)


便利な機能 LDのつづきから見るには

LDでは途中まで見たあと、あらためて続きから見るができます。くわしくは、17ページの「つづきから見る」をご参照ください。


つづきから見る (LD)



すぐにつづきから見る


- 1 途中まで見て、 停止 ■ ボタンを押し、LDを停止させる。

この後、電源ボタンを押して、電源をオフにしても記憶された場所は消去されません。

- 2 電源をオフに  しているならば、電源を入れ、つづき再生ボタンを1回押す。

停止した少し手前から再生します。

前のあらすじを見てからつづきから見る

- 1 途中まで見て、 停止 ■ ボタンを押し、LDを停止させる。

この後、電源ボタンを押して、電源をオフにしても記憶された場所は消去されません。

- 2 電源を  +  しているならば、電源を入れ、つづき再生ボタンを続けて2回押す。

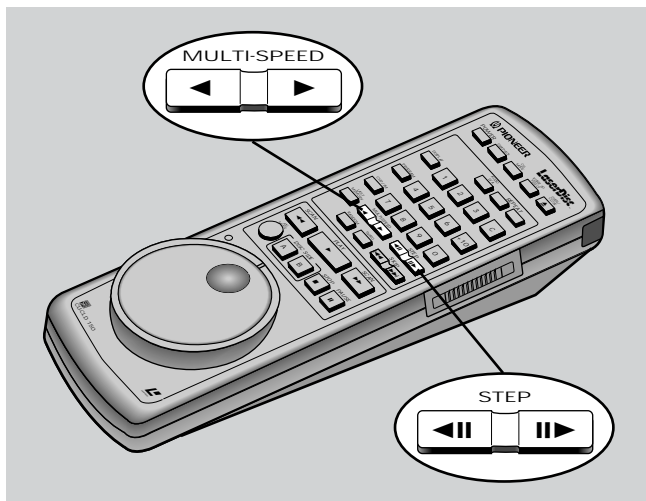
ディスクの始めから再生・早送りをくり返し、停止した少し手前から再生だけをします。

ご注意

LD再生だけの機能です。CD、CDVでは、つづき再生はできません。ディスクを入れたままにしてください。一度でも取り出した場合は、つづき再生はできません。両面再生ディスクでB面再生中に停止した場合、つづき再生はB面から始まります。

停止 ■ ボタンで停止した後、再生 ▶ ボタンで再生すると、ディスクの始めから再生します。電源コードは、必ず常に電源がきているコンセントにつないでください。(アンプなどのACコンセントにつなぐと、電源が切れてしまう場合があります。)

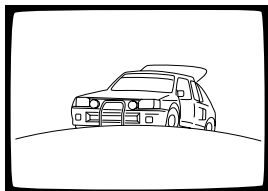
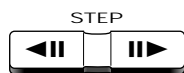
トリック再生



静止画 / コマ送り再生

静止画再生 - 画像を止めてみる

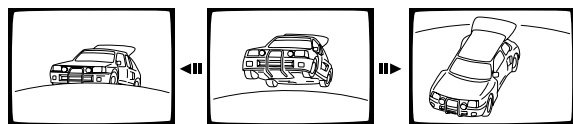
コマ送りボタン ◀||、||▶ を押す。



一時停止 || ボタンでも静止画になります。

コマ送り再生 - 画像を 1 コマずつ見る

静止画の状態からコマ送りボタン ◀||、||▶ を押す。



押すごとに1コマづつ戻ります。

押すごとに1コマづつ進みます。



押しつづけると連続してコマ送りができます。

ご注意

静止画、コマ送り中、マルチスピード再生中の音声は聞こえません。
ディスクのキズ、汚れ等でコマ送り、戻しができない場合があります。

レーザーディスクのCAVの場合

【フレーム・スタイル / フィールド・スタイル】

レーザーディスクのCAVディスクでは、再生中に本体のフィールドスタイルボタンを押すことによってフレーム・スタイルとフィールド・スタイルを切り換えることができます。

それぞれ切り換えた時、画面に"FRAME STILL" (フレーム・スタイル)、"FIELD STILL" (フィールド・スタイル) の表示が出ます。

フレーム・スタイル： レーザーディスク本来の高画質の静止画です。

フィールド・スタイル： 動きがはやい場面でのブレの少ない静止画です。

レーザーディスクのCLVの場合

【フィールド・スタイル】

レーザーディスクのCLVディスク再生時は、フィールド単位のコマ送り、戻しを可能としています。これにより、従来のLDプレーヤーでは見ることができなかったすべてのフィールドを静止画と見ることができます。

レーザーディスクのCAVディスク以外ではフレーム・スタイルとフィールド・スタイルを切り換えることはできません。

速さを変えて再生する (マルチスピード再生)

再生スピードや方向を変えるには

マルチスピードボタンを押す。



再生中に押すと、1/8の速さで再生します。さらに押すごとに、次のように再生する速さが変わります。

スピードの表示	速さ
1/8	ふつうの再生の1/8の速さ
1/2	ふつうの再生の1/2の速さ
x2	ふつうの再生の2倍の速さ
1/2	ふつうの再生の1/2の速さ
1/8	ふつうの再生の1/8の速さ
1/30	ふつうの再生の1/30の速さ

普通の再生に戻すには

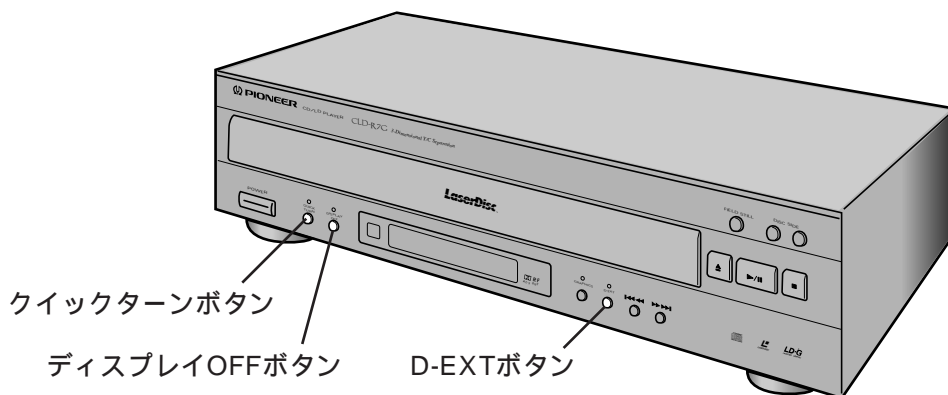
再生 ▶ ボタンを押します。

自動的に静止画になってしまった :

あるディスクの中には、ピクチャーストップコードという特別な信号を記録したものがあります。ディスクが入っているとき、前面パネルの再生 ▶ ボタンを2秒以上押すと、ピクチャーストップキャンセル機能が働き、ピクチャーストップコードのある画面にきても静止せず、再生をつづけます。この時、画面にPSC*オンと数秒間表示します。もう一度再生 ▶ ボタンを2秒以上押すと、画面にPSC*オフと数秒間表示します。もとの状態に戻ります。

* PSCとはピクチャーストップキャンセルのことです。

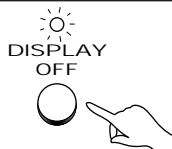
映画ディスクを楽しむ



映画の雰囲気をごわさないようにするために画面表示を消すことができます。

表示（ディスプレイ）を消すには

ディスプレイOFFボタンを押す。



表示窓の表示が消え、画面表示が出なくなります。ただし、本体またはリモコンのボタンでプレーヤーを操作した場合は、その操作モードを約3秒間だけ表示します。

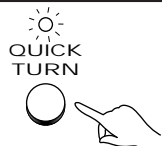
ご注意

ディスプレイOFFにすると電源がオンであっても表示窓は消えます。また、1度電源をオフしてもディスプレイOFFの状態を記憶していますので、再度電源をオンにしても表示窓は消えたままです。表示窓を点灯させるにはもう1度ディスプレイOFFボタンを押してください。

再生開始時間、反転時間を短くするクイックターン機能があります。

再生開始時間、反転時間を短くする（クイックターン）（LD）

クイックターンボタンを押す。
インジケータが点灯しているときはオンの状態を表しています。



ランダム再生やディスク情報を見るときなどはクイックターンボタンを押し、ボタンを消灯させてから一度、停止■ボタンを押して停止させ、再度再生▶ボタンを押して（このときTOC情報を読む）ください。

ボタンが点灯しているときはディスクに記録されているTOC（Table Of Contents）を読み込まないため、再生開始時間、反転時間が短くなります。

このためTOC入りLDであってもランダム再生、トータル時間、リメイン時間表示、標準（CAV）ディスクでの経過時間表示ができなくなります。

反転時、クイックターンオンのときは黒画面、クイックターンオフのときはメモリー画面になります。

ご注意

ACコンセント差し込み後、電源オンでクイックターンオンになり、インジケータが点灯します。CDを再生すると自動的にボタンが消灯します。その後再びLDを入れると前の状態を記憶していますので、ボタンが点灯します。1度電源をオフしても、クイックターンがオンかオフかを記憶していますので、再度電源をオンにした場合も前と同じ設定となります。

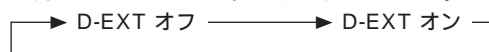
画像の黒い部分をより黒くして、クッキリした画面にすることができます。

白っぽい感じの画面をクッキリした画面にするには（D-EXT）

D-EXT ボタンを押す。



ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



D-EXTオフ： 通常の画質（インジケータ消灯）
D-EXTオン： 黒を真黒にしてクッキリした画面（インジケータ点灯）

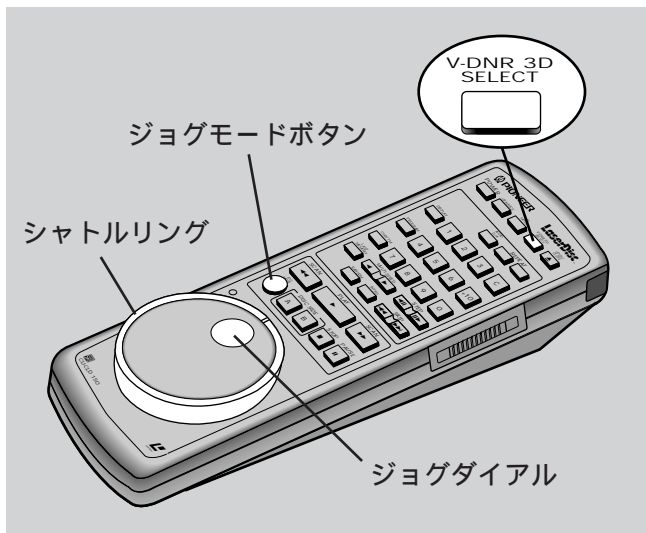
ご注意

ソフトや組み合わせるTVによっては、本機能を使用した場合、見づらくなることがあります。その場合は、D-EXTをオフにしてください。

便利な機能 リモコンでD-EXTの切り換えができます。

D-EXTのオン/オフはリモコンでも切り換えられます。くわしくは、20ページの「画質調整」をご参照ください。

画質調整とメモリー



画質調整

調整項目

- Y-NR : 輝度信号のノイズ低減効果を調整します。
- C-NR : 色信号のノイズ低減効果を調整します。
- 3D. Y/C : Y/C分離の2次元 (OFF) ~ 3次元 (MAX) を (S映像出力のみ) 選択します。OFFでは動きのはげしい映像でのクリアーさが重視され、MAXでは動きの少ない映像でのクロスカラーが改善されます。
- SHARP : 輪郭補正量を調整します。

静止画時の画面では、画面の処理上、設定値に関係なくY-NR、C-NR、3D. Y/CはOFFに設定されます。従って静止画では、調整により設定値(表示値)は変わりますが画質は変わりません。(CAVディスクでフレーム・スティルの場合にはY-NR、C-NRは静止画時も有効です)

画質の呼び出し

あらかじめメモリーされている3種類の画質と「画質設定のメモリー」でメモリーした3種類の画質から選べます。

- あらかじめメモリーされている画質
- STANDARD (スタンダード) : 標準画質です。
 - SPORTS (スポーツ) : 動きの速い映像向けの画質です。
 - ART (アート) : 動きの遅い映像向けの画質です。

呼び出しかた

V-DNR 3D SELECTボタンを押す。

- 1回押すと下記のような画面表示になります。
- ▶ は選択されている画質です。
- 表示中に続けて押すと、画質の選択が移ります。

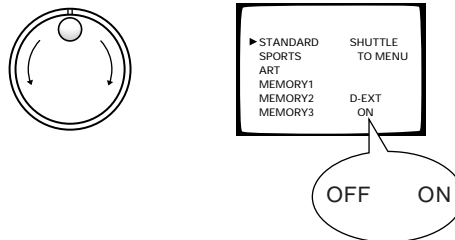


- 約5秒で表示は消えます。
- クリアーボタンを押すと、すぐに表示が消えます。

ご注意

「▶」表示がない場合は調整段階の状態を意味します。

- 画質の呼び出し画面の表示中に、ジョグモードボタンを押してジョグダイヤルを回すと、D-EXTのオン/オフを切り換えることができます。



画質調整とメモリー

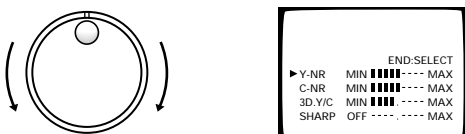
画質設定のメモリー

- 1 V-DNR 3D SELECTボタンを押す。
下の画面が表示されます。



画質調整画面には、どの画質からでも入ることができます。

- 2 1の画面が出ている間にシャトルリングを回す。
左右どちらかに回すと画質調整画面になります。



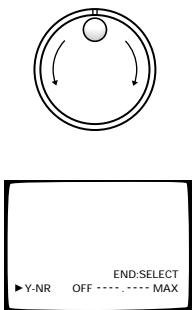
- 3 シャトルリングを回して、調整する項目を選択する。



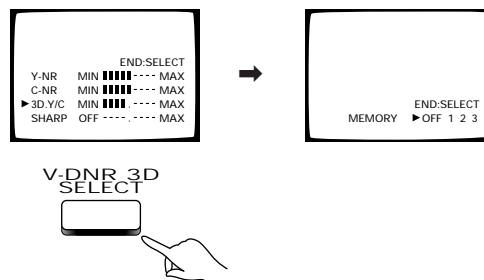
- 4 ジョグモードボタンを押して、ジョグダイヤルを回す。
選択されている項目の設定値が変化します。

画質調整画面で何も操作しないと、約5秒後に選択中の項目のみを画面下に表示します。このように、画面が見やすくなりますので、映像を見ながらの微調整が必要なときは、この状態で行ってください。

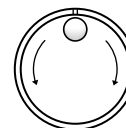
V-DNR 3D SELECTボタンを押すと前の画面に戻ります。



- 5 画質調整後、V-DNR 3D SELECTボタンを押す。
画質調整画面でV-DNR 3D SELECTボタンを押すと、メモリー画面になります。



- 6 ジョグダイヤルを回す。
ジョグダイヤルを回して▶を移動させ、保存先(1, 2, 3)を決めます。



OFFを選ぶとメモリーされませんが、画面は設定された画質になっています。

シャトルリングを回すと画質調整画面に戻ります。

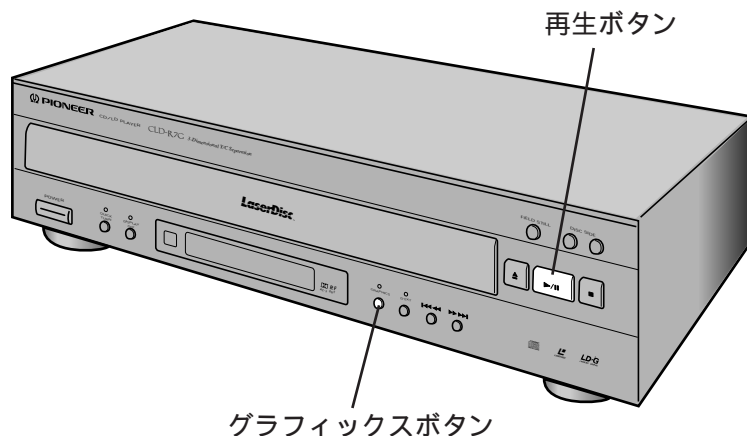
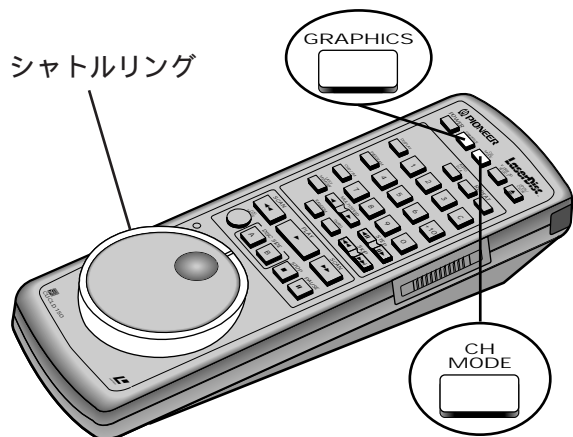
画質調整画面やメモリー画面で何も操作しないと、2分後に画質調整モードは終了し、OFFを選択した場合と同様になります。

- 7 V-DNR 3D SELECTボタンを押す。
メモリーを実行し、画質調整モードを終了します。



画質調整中にクリアボタンを押すと、調整前の設定値で画質調整モードを終了します。

LD/CDグラフィックスを楽しむ



1 電源を入れ、グラフィックス対応ディスクをセットする。

2 グラフィックスボタンを押す。
LDグラフィックスでは始めは、グラフィックスモード1の表示が出ます。(グラフィックスチャンネル0と1がオンになります。)もう1度押しと、グラフィックスモード2の表示が出ます。(グラフィックスチャンネル2がオンに変わります。)グラフィックスチャンネルについては23ページをご覧ください。

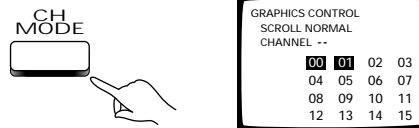
CDグラフィックスでは、グラフィックスオンの表示が出ます。

3 再生を始める。
グラフィックスがオフでもCDグラフィックスを再生すると自動的にグラフィックス映像になります。

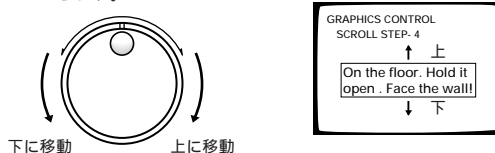
映画の台詞などの表示位置を変えることができます。グラフィックスの始めの位置表示(初期値)はグラフィックスによって異なります。

グラフィックスの表示位置を変えるには

1 チャンネルモードボタンを押す。
グラフィックスコントロールの画面表示が出ます。



2 画面表示しているあいだにシャトルリングを回す。
右に回すと上に移動します。左に回すと下に移動します。
スクロールステップ表示になり、ノーマルから17まで18段階できます。



3 位置を決めたらチャンネルモードボタンを押す。
上記のグラフィックスコントロール画面が消えます。

グラフィックスをオフにするには

LDグラフィックスでは、グラフィックスモード2からグラフィックスボタンを押します。

CDグラフィックスでは、グラフィックスオンからグラフィックスボタンを押します。

ご注意

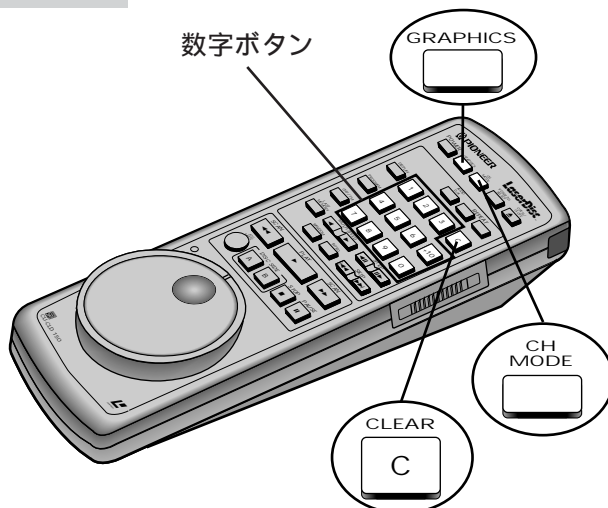
グラフィックスが記録されていないディスクを再生すると、まれに誤ったグラフィックス映像を出すことがありますが故障ではありません。グラフィックスが記録されていないディスクを再生するときは、必ずグラフィックスをオフにしてください。

LD/CDグラフィックスディスク再生時に、次の操作をすると、グラフィックス映像の“文字が欠ける”、“画面と文字、画面と画面、文字と文字が重なる”、“画面の文字の色が変わる”ことがありますが故障ではありません。しばらくすると、正しいグラフィックス映像になります。

早送り、早戻し(シャトルリング、早送り、早戻し)
一時停止

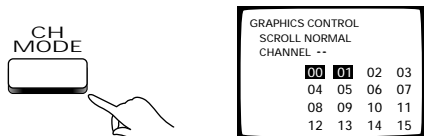
サーチ
グラフィックスコントロール画面でグラフィックスボタンをオンにする。

LD/CDグラフィックスを楽しむ

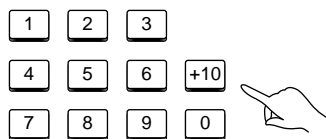


グラフィックスチャンネルを変えるには¹

- 1 チャンネルモードボタンを押す。
グラフィックスコントロールの画面表示が出ます。

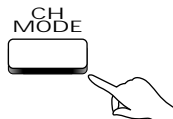


- 2 リモコンの数字ボタンでチャンネルを選びます。



もう1度同じチャンネルの数字ボタンを押すとオフになります。

- 3 もう1度チャンネルモードボタンを押す。
元の表示に戻ります。



¹ LD/CDグラフィックスには0～15までの16のグラフィックスチャンネルがあります。このグラフィックスチャンネルをオン/オフすることにより、画面に映す情報を選ぶことができます。本機は、電源を入れたときはいつも0と1チャンネルがオンになります。ディスクのジャケットなどにチャンネルの指示が書いてある場合とディスク映像から指示がある場合以外は、変更しなくてもグラフィックスを出すことができます。

設定したチャンネル、表示位置を始めの位置に戻すには

- 1 チャンネルモードボタンを押し、グラフィックスコントロールの画面を出す。



チャンネル、表示位置の両方を戻すには

- 2 画面表示しているあいだにクリアーボタンを押す。
始めの状態に戻ります。
LDグラフィックスでは、始めにグラフィックスモード 2 に設定してあった場合は、チャンネル2に戻ります。



チャンネルだけを戻すには

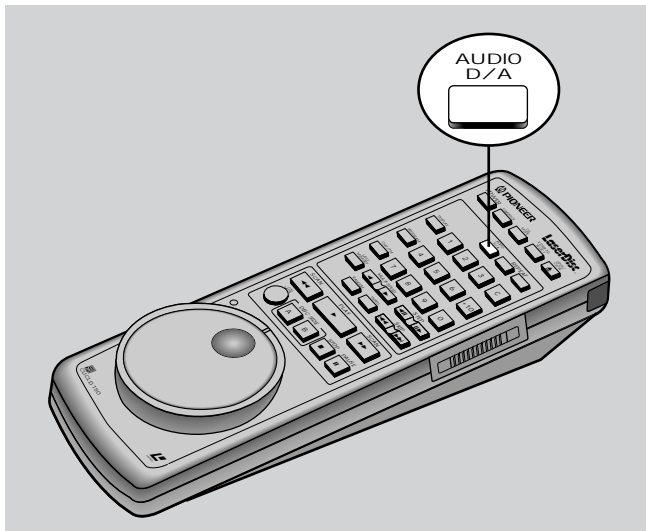
- 3 画面表示をしているあいだにグラフィックスボタンを押す。



LDグラフィックスでは、もう1度グラフィックスボタンを押すと、チャンネル2になります。グラフィックスボタンを押すたびにグラフィックス映像を消します。

あれっ？グラフィック映像が出ない
LD/CDグラフィックスディスクを使用していてグラフィックスボタンを押してもグラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルの設定が合っていないことが考えられます。このような場合、電源を1度切り再び電源を入れるか、チャンネルモードボタンを押してグラフィックスコントロールモードにし、クリアーボタンを押してください。グラフィックスチャンネルが始めの状態に戻ります。

音声を切り換える

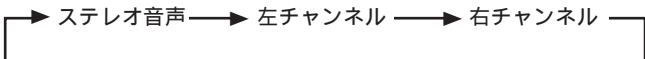


再生中に、音声モニターボタンを押すごとに、音声が切り換わります。

例えば・・・

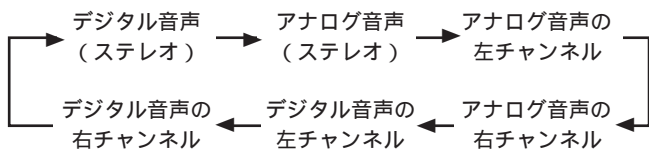
- デジタル音声付きディスクのアナログ音声を聞く
- 二ヶ国語ディスクで英語にする
- カラオケディスクでカラオケ演奏にする

CDおよびCDVの場合



デジタル音声入りLDの場合

デジタル音声とアナログ音声およびステレオ音声の左チャンネル(L)と右チャンネル(R)を切り換えることができます。



音声	ステレオディスク	二ヶ国語ディスク
ステレオ		
左チャンネル		
右チャンネル		

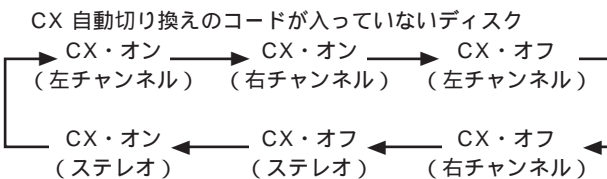
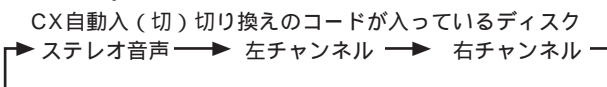
WHAT?

○×マーク付きのLDについて

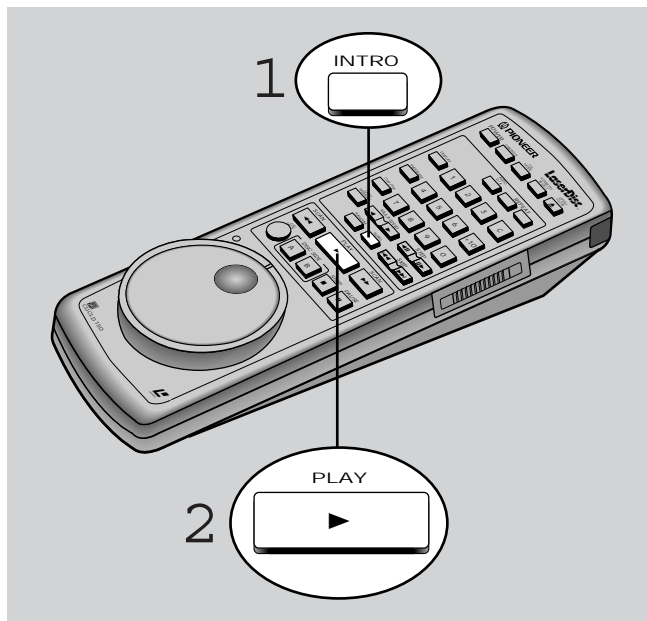
- ×は、LDのアナログ音声に対して機能します。
- ×マークの付いたLDでは、CXノイズリダクションシステムにより、雑音の少ない音を再生することができます。
- ×マーク付きのディスクの中には、CXシステムを自動的に入・切するコードが記録されていないものがあります。この場合は、リモコンの音声モニターボタンを押してCX・オンにしてください。
- ×はCBSの商標です。本プレーヤーはCXの伸張仕様に適合します。

ご注意

ドルビーデジタル(AC-3)対応のLDでアナログ音声の右チャンネルを選ぶと音声は出ません。アナログ音声のみのLDの場合は次のように切り換わります。



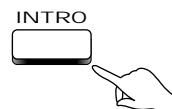
見たい(聞きたい)ところを探す(スキャン)



イントロスキャン

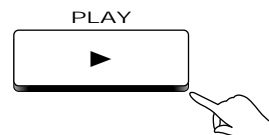
LDとCDVのビデオパートの各チャプター/トラックの頭の8秒間を次々再生します。

1 イントロボタン
を押す。



各チャプター/トラックの頭を約8秒間ずつ再生します。

2 見たい場面の
所で、再生▶ボタンを押す。



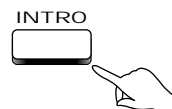
普通の再生に戻ります。

ディスクの終りまでスキャンするとディスクの頭から普通の再生をします。

ハイライトスキャン

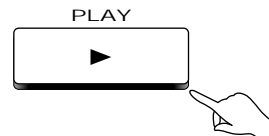
CDとCDVのオーディオパートの各曲の1分後の8秒間を次々再生します。。

1 イントロボタン
を押す。



各トラックの頭から1分後を、約8秒間ずつ再生します。

2 聞きたい曲の
所で、再生▶ボタンを押す。



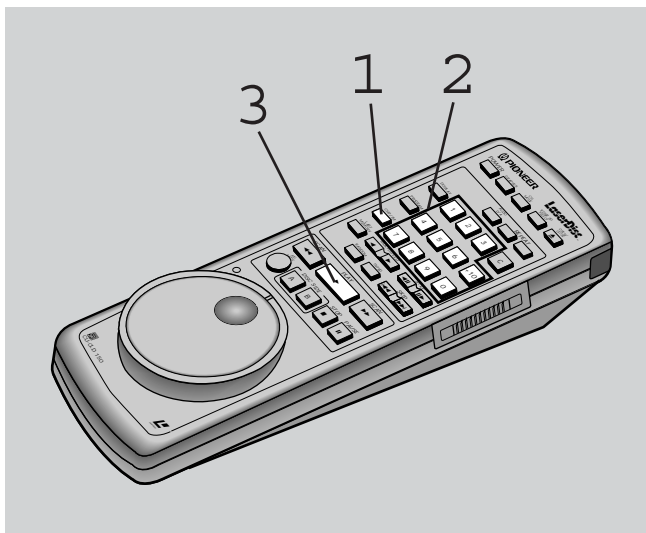
普通の再生に戻ります。

ディスクの終りまでスキャンするとディスクの頭から普通の再生をします。

ご注意

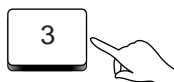
CDV はビデオパートをイントロスキャンしたあとオーディオパートをハイライトスキャンします。チャプターナンバーの記録されていないディスクは、イントロスキャンできません。
1分以下の曲や33曲以降の曲は、曲の頭から約8秒間再生します。
CDの場合1分以下の曲は再生されません。

見たい場面を探す (サーチ)



チャプター/トラック番号で直接探す (ダイレクトサーチ)

例：LDのチャプター3の始めから見る



チャプター/トラックナンバーが10以上のときは：
+10や0ボタンを使います。

〔例〕 17のとき：

30のとき：

チャプター番号で探す (ノーマルサーチ)

LDのときに動作します。

再生中に働きます。

〔例〕 17のとき：

30のとき：

画面の番号で探す (フレームサーチ)

LDのCAVディスクのときに動作します。

1 再生中にチャプター/タイムボタンを押す。

CHP/TM



2 数字ボタンを押して、フレームナンバーを指定する。
例：見たい場面のフレームナンバーが13542の時は



3 再生▶ボタンを押す。
指定したフレームナンバーの画面で静止します。

PLAY



もう一度再生▶ボタンを押すと再生を始めます。

時間で探す (タイムサーチ)

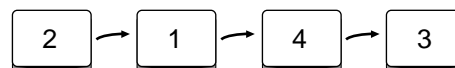
LDのCLVディスクのときに動作します。

1 再生中にチャプター/タイムボタンを押す。

CHP/TM



2 数字ボタンを押して、タイムナンバーを指定する。
例：見たい場面のタイムナンバー(時間)が21分43秒のときは



秒の記録されていないディスクは分(2ケタ)で指定します。

3 再生▶ボタンを押す。
指定したタイムナンバーで静止画になります。
もう一度再生▶ボタンを押すと再生を始めます。

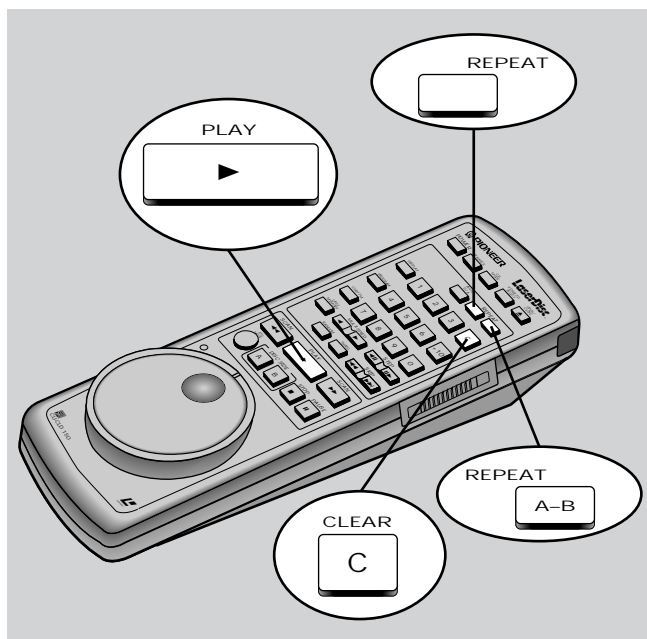
PLAY



ご注意

ディスクに記録されていないフレームナンバーやタイムナンバーを指定すると、ディスクの終りで一時停止になります。

繰り返して見る・聞く（リピート再生）



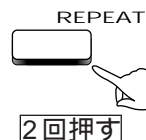
トラック / チャプターをリピート再生する

繰り返したい曲やチャプターの再生中にリピートボタンを1回押す。



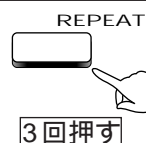
ディスクの片面をリピート再生する

リピートボタンを2回押す。終わりまで再生するとディスクの始めに戻り、繰り返して再生します。



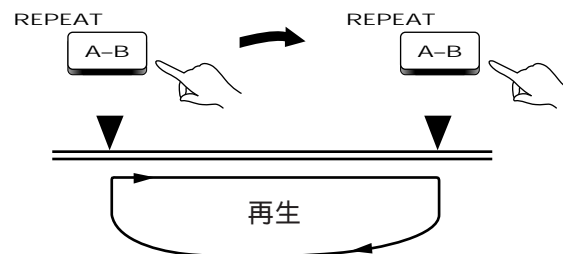
ディスクの両面をリピート再生する

リピートボタンを3回押す。A面からB面、B面からA面へと繰り返して再生します。



箇所を指定してリピート再生する

繰り返したい始めと終りで2点間リピートボタンを押す。



CDV の場合、オーディオパートとビデオパートにわたる繰り返して再生はできません。

両面LDの場合、両面（表裏）にわたる繰り返して再生はできません。

指定した場所を取消するには、クリアーボタンを押します。

リピート再生を止めるには

クリアーボタンを押します。または、リピートボタンを押し、リピートインジケータを消します。リピートモードは解除されますが再生はそのまま続きます。

便利な機能 プログラムやランダムのリピート再生ができます。

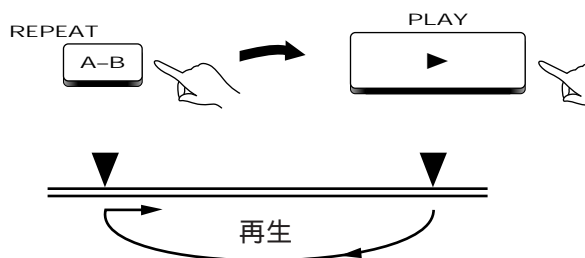
プログラム再生中にリピートボタンを1回押します。同様に、ランダム再生中にリピートボタンを1回押します。プログラムについては28ページ、ランダムについては30ページをご覧ください。

ご注意

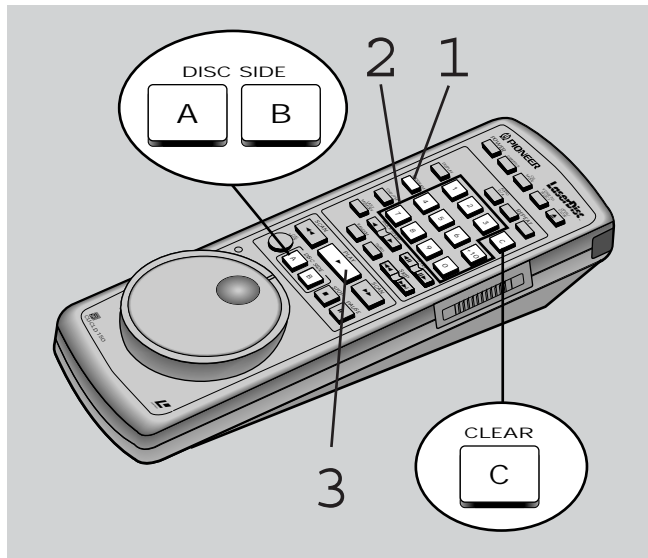
チャプターナンバーのないLDでは、チャプター繰り返して再生はできません。このようなディスクでは、リピートボタンを1回押すと片面繰り返して再生になります。

指定した場所に戻る

希望の場所で2点間リピートボタンを押す。戻りたいところで再生▶ボタンを押す。



希望の順番に並び換えて再生する（プログラム再生）



設定したプログラムの再生が終わると停止状態になります。
 数字ボタンを押し間違えたときは、クリアーボタンを押してから正しい数字ボタンを押してください。
 チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生はできません。

プログラムを確認するには

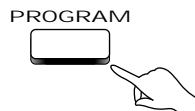
プログラム再生中やプログラム再生が終わったあとにプログラムボタンを押すと、プログラムした内容が画面に表示されます。もう一度プログラムボタンを押すと、プログラム内容表示が消えます。

ディスクに記録されていないチャプターをプログラムすると、そのチャプターのところで再生を停止します。
 チャプターの移り変わりのときにプログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。

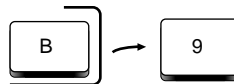
プログラム再生の設定（両面再生LDの場合）

「B面チャプター9、A面チャプター7、B面チャプター18の順に設定する」までを例とします。

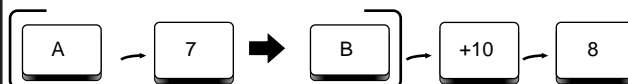
1 プログラムボタンを押す。



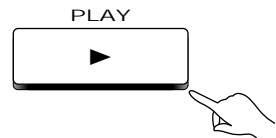
2 ディスクサイドBボタンを押し、次に数字ボタンの9を押す。



B面チャプター9が設定されました。
 次にA面チャプター7、B面チャプター18を設定します。



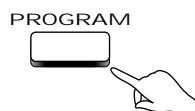
3 再生▶ボタンを押す。



プログラム再生の設定（片面再生LD、CD、CDVの場合）

「CDのトラック9、7、18の順に設定する」までを例とします。

1 プログラムボタンを押す。



2 数字ボタンの9、7、+10、8を押す。

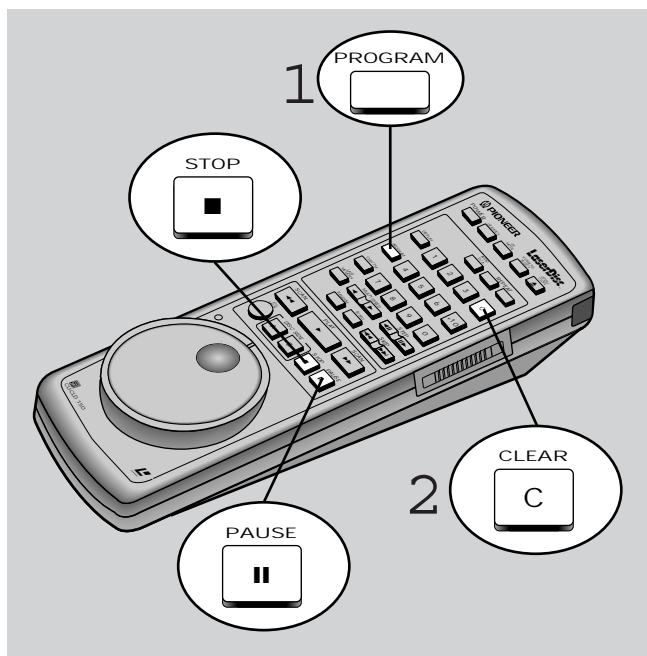


CDのトラック9、7、+10、8が設定されました。

3 再生▶ボタンを押す。



プログラム再生



プログラム再生を止めるには

停止 ■ ボタンを押す。

プログラムをすべて消すには

ディスクテーブルを開ける。
または、停止状態でクリアーボタンを押す。

1曲ずつ削除するには

- 1 プログラムボタンを押す。
-
- 2 クリアーボタンを押す。
押すたびに後のプログラムから順に削除します。

再生中のチャプター/トラックとこれより前のプログラムは解除できません。

便利な機能

一時停止（ポーズ）をプログラムする

数字のかわりに一時停止 ■ ボタンを押すとポーズがプログラムできます。

ポーズをプログラムしておくと、録音するとき大変便利です。

テープの両面に録音するとき、片面に録音する最後のトラック/チャプターのあとにポーズをプログラムしておくと、一時停止のときにテープの録音面を替えられ、録音ミスを防げます。

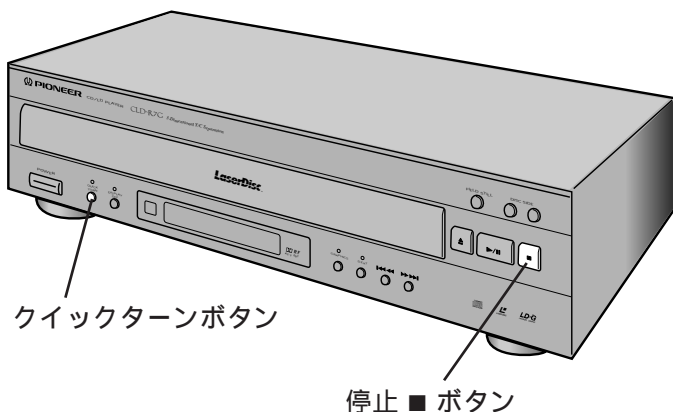
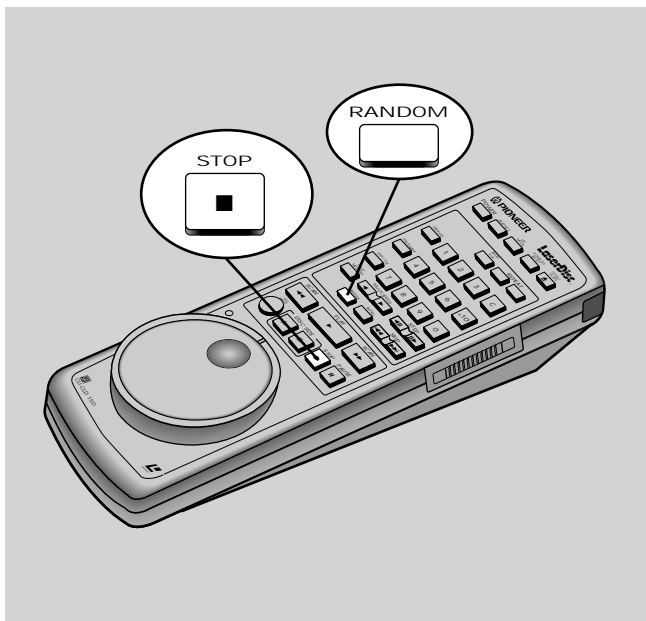
ポーズ状態のとき、ナレーションを吹き込んだり、無録音部分（サーチ操作などに必要）が作れます。ポーズ状態のとき、一時停止 ■ ボタンをもう一度押すと、プログラム再生が引続き始まります。録音を再開してください。

最後のステップには、ポーズをプログラムすることはできません。

プログラムしたポーズの表示

画面では“ ■ ”、表示窓では“ PA ”が表示されます。

プレーヤーの選ぶ順番で再生する（ランダム再生）



CDとTOC付きLDのディスク片面の中の全ての曲を本機が順不同に並べ変えて再生します。ディスク片面の中の全曲の再生が終わると停止します。

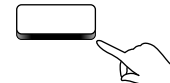
クイックターンボタンが消灯していることを確認します。

点灯しているときは、押して消灯させて、停止ボタンを押してください。（再生中にクイックターンボタンを消灯させただけでは、TOC情報を読み込みません。）

ランダムボタンを押す。



RANDOM

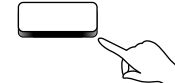


両面LDでは、表面のみランダム再生します。

(消灯)

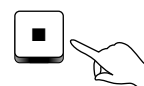


RANDOM



ランダム再生を止めるには

停止 ■ ボタンを押す。



LDで裏面のランダム再生のしかた

まずクイックターンをオフにし、ディスクサイドBボタンを押して、その後ランダムボタンを押してください。

ランダム再生中に：

▶▶ ボタンを押すと、次にプレーヤーが選ぶ曲が再生されます。

◀◀ ボタンを押すと、現在再生中の曲を始めから再生し直します。

クリアーボタンを押すと、ランダム再生が解除され、通常再生になります。現在再生されている曲のあとを順番に再生していきます。

ランダム再生中にランダムボタンを押すと、その時の再生順序は解除され、新たな再生順序でランダム再生を再開します。

ご注意

チャプターの記録されていないLDではランダム再生はできません。

クイックターンがオンではランダム再生できません。

TOCのない LD では、ランダム再生できません。

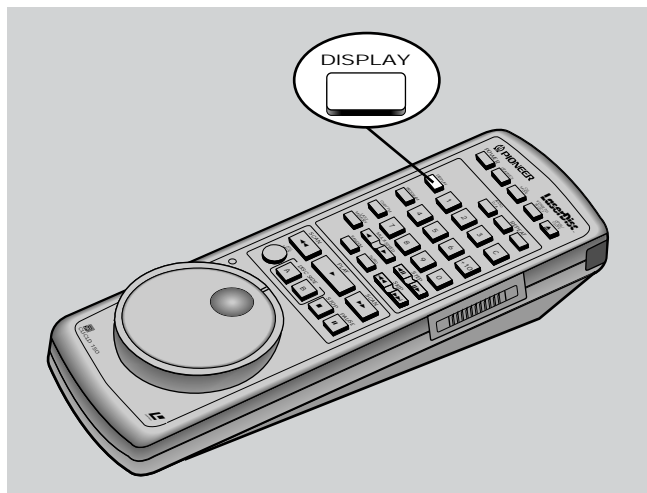
TOCについては5ページをご覧ください。

両面（表裏）にわたるランダム再生はできません。

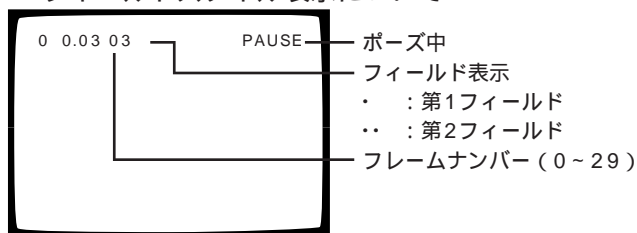
LDではチャプター0（ゼロ）は、ランダム再生しません。

プログラムした内容をランダムに再生することはできません。

情報を見る

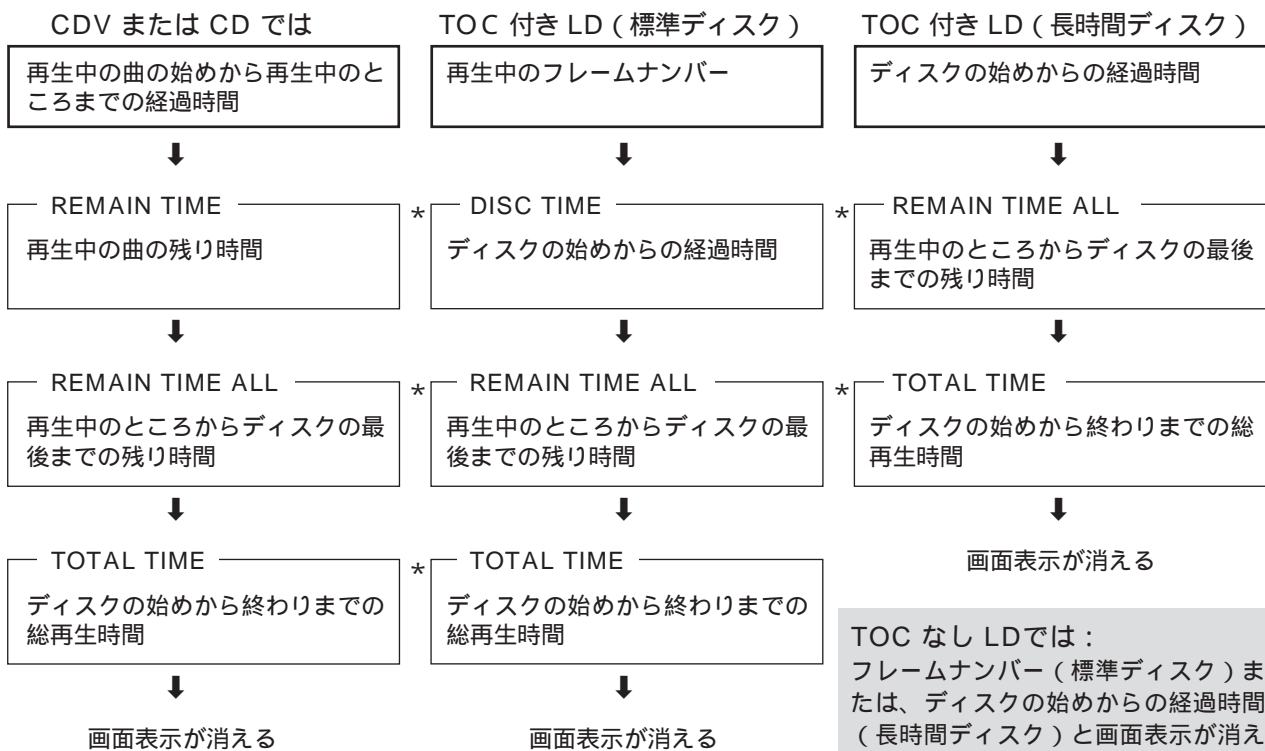


フィールドスタイル表示について



CLVおよびCAVフィールドスタイルモード再生時、静止画/コマ送り/ジョグモード時のみは上記の表示をします。

クイックターン機能をオフ (ボタン消灯) にした状態で再生させて、画面表示ボタンを押すたびに次のように変わります。



CDVの場合、再生中のパート (オーディオまたはビデオ) のトータルタイムです。

TOC なし LDでは:
フレームナンバー (標準ディスク) または、ディスクの始めからの経過時間 (長時間ディスク) と画面表示が消えるが交互に切り換わります。

ご注意

何も操作せずに長時間 (約80分) 画面表示をしたままにしておくと、自動的に画面表示は消えます。いずれかのボタンを押すと、再び画面表示します。

TCO付きLDであってもクイックターンがオンのときは*の表示はしません。*の表示を見たい場合は、クイックターンをオフにしてから一度再生を停止させ、再度再生させてください。

故障？ ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

LD と CD 共通

	症状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが極端に汚れている。 ● ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ● プレーヤーの内部が結露している。 	34ページ 12、13ページ 3ページ
リモートコントロール	2. リモコンで操作できない。 3. テレビなどが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 背面パネルのコントロール入力端子を使用している。 ● プレーヤーと離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。 ● 電池が消耗している。 ● ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。 	9ページ 7ページ 7ページ
音声	4. 音が出ない。音が歪む。	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。 ● 接続プラグや端子が汚れている。 ● ポーズモードになっている。 ● オーディオコードの接続が間違っている。 ● ステレオアンプの操作が間違っている。 (とくに、入力の選択が正しくされているか(CD、LD等)確認してください。) ● ステレオアンプの PHONO 入力端子と接続している。 	8、9ページ

LD

	症状	考えられる原因	参照ページ
映像、画質	5. 映像がでない。 6. 映像がでない、映像は出るのが質が悪い、乱れる。 7. 静止画の一部がブレる。 8. 画面にノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面の選択(ビデオ1、ビデオ2等)が間違っている。 ● ディスクが極端に変形(そりなど)している。 ● 接続プラグの差し込みが不十分、または外れている。 ● 標準ディスクでも動きの激しい場面では、静止画の一部がブレることがあります。 ● D-EXTオン時、組み合わせるテレビによっては画面にノイズが出ることがありますが、故障ではありません。 	8ページ 6ページ 18ページ
音声(LD)	9. 音声が波打ったようになる。 10. 音声がでない。 11. アナログ音声とデジタル音声とで音量差がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● <input type="checkbox"/>マークのついていないディスクをCXシステムをオンにして再生している。 ● マルチスピード再生、静止画・コマ送り再生では音が出ない。 ● デジタル音声は、アナログ音声より大きな音量で記録されることがあります。(故障ではありません。) 	24ページ 18ページ
スキップ、サーチ	12. スキップ、プログラム、サーチができない。 13. サーチ時間が長い。 (40秒以上かかる) 14. スタート時間が長いものがある。 15. 指定したナンバーと違う場面を再生する。	<ul style="list-style-type: none"> ● チャプターナンバーの記録されていないディスクを再生している。(チャプターナンバーの記録されていないディスクでは、チャプターを利用した機能は動きません。) ● データの読み取りに時間のかかるディスクがあります。 ● データの読み取りに時間がかかる場合がある。(故障ではありません。) ● データの読み取りに誤りがある場合がある。(故障ではありません。) 	—————

故障？ちょっと調べてください

CD

	症状	考えられる原因	参照ページ
操作 (CD)	16. 再生を始めてもすぐに止まってしまう。	ディスクが極端に汚れている。 ディスクの裏表が逆にセットしてある。 ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。	34ページ 12、13ページ 12、13ページ

グラフィックス機能時

	症状	考えられる原因	処置	参照ページ
映像	17. グラフィックスボタンを押してもグラフィックスの映像がでない。	ディスクにグラフィックスが記録されていない。	LD-G マークまたは GRAPHICS マークが付いたディスクを使用する。	6ページ 22ページ
	18. 再生中にグラフィックス映像の一部が乱れたり、文字が欠けたりする。	ディスクに傷がある。 ディスクが汚れている。	傷のないディスクを使用する。 ディスクの汚れを拭き取る。	6ページ 34ページ
	19. 早送り、早戻し、一時停止、サーチをしたらグラフィックスの映像が乱れたり、文字が欠けたりする。	操作後しばらくすると正しいグラフィックス映像になります。 停止ボタン■を押して再生を止め、もう一度再生を始める。		22ページ

ご注意：

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

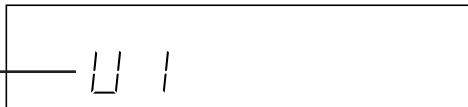
自己診断機能について

本機は自己診断表示機能を持っています。

本機をご使用中に異常を検出すると、本体表示部およびTV画面に以下の表示（サービス番号）を自動的に表示します。まず、「対応のしかた」に従ってください。

本体表示部

サービス番号



TV画面

サービス番号



サービス番号	本機の状態	対応のしかた
U1 U2	ディスクが正しくセットされていないと考えられます。 ディスクが正しくセットされている場合は、ディスクの汚れが原因と考えられます。	ディスクをディスクテーブルの溝にそってセットしなおしてください。 ディスクを柔らかい布で拭いてください。 一度ディスクテーブルを開けてから、もう一度再生 ▶ ボタンを押してください。
F5 P2 L3 E3 E4 E9	ディスクが2枚重ねてセットされていると考えられます。 ディスクが1枚セットされている場合は、ディスクの汚れが原因と考えられます。 (P、F、L、E以降の数字は本機の状態によって変わります。)	ディスクを1枚だけディスクテーブルにセットしてください。 ディスクを柔らかい布で拭いてください。 一度ディスクテーブルを開けてから、もう一度再生 ▶ ボタンを押してください。 再度同じ表示がでた場合は異常と考えられます。 修理を依頼されるときに、本体表示部またはTV画面の表示（サービス番号）をお知らせください。 (例えば「E4」と表示しているときは、「サービス番号、E4」とお知らせください。)
H0 H1 H2	異常と思われます。	修理を依頼されるときに、本体表示部またはTV画面の表示（サービス番号）をお知らせください。 (例えば「H1」と表示しているときは、「サービス番号、H1」とお知らせください。)

お手入れ

正しく、末永くお使いいただくために

本機のお手入れ

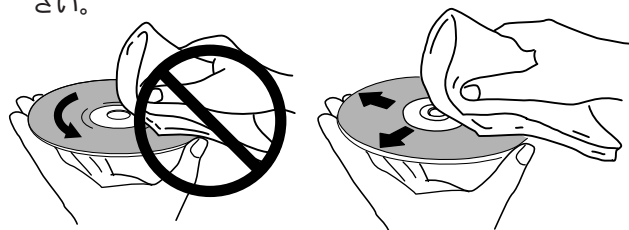
本機の表面は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を5～6倍に薄めた液に柔らかい布を浸し、良く絞ったあと汚れを拭き取り、その後かわいた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと表面の仕上げを傷めるので、使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

LD/CD レンズクリーナーについて

ピックアップレンズは、通常汚れるものではありませんが、ご使用中にほこりなどにより不具合が発生したときは、アフターサービスの項をお読みの上、修理をご依頼ください。なお市販されているLD/CD レンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますので使用しないでください。

ディスクの手入れ

ディスクに指紋やホコリがついた場合でも、ディスクに記録された信号には直接影響しませんが、汚れにより信号記録面からの反射光の明るさが低減して音質が低下する場合があります。いつもきれいに清掃することを心掛けてください。清掃する場合には柔らかい乾いた布またはエチルアルコールでディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



円周方向へは拭かないでください

内周から外周方向へ軽く拭いてください

ディスクの清掃には、別売のディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をお勧めします。レコードスプレー、静電気防止剤などは使用できません。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがあります。ご注意ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。

所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは

32、33ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、サービス番号（エラー表示）が表示されているときは、それをメモして、必ず電源プラグを抜いてから、お買上の販売店または、お近くのバイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容について：

- ・品名 CD/LDプレーヤー
- ・品番 CLD-R7G
- ・お買上げ日
- ・故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」「サービス番号」
- ・ご住所 「付近の目印も合わせてお知らせください」
- ・お名前
- ・電話番号
- ・訪問ご希望日

保証期間中は：

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お客様メモ

おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くの ご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年 月 日	型番	この機種は CLD-R7G です。

仕様

一般

形式 レーザーディスクシステムおよびコンパクトディスクデジタルオーディオシステム
 使用レーザー 半導体レーザー：波長 780nm
 電源 AC100V、50/60Hz
 消費電力 30W
 質量（重量） 6.9kg
 外形寸法 420（幅）× 402（奥行）× 138（高さ）mm
 許容動作温度 +5 ~ +35
 許容動作湿度 5% ~ 85%（結露のないこと）

S映像出力<2系統>

Y出力レベル 1Vp-p（75 ）
 C出力レベル 286mVp-p（75 ）
 出力端子 S端子

ビデオ出力<2系統>

出力レベル 1Vp-p（75 負荷時、同期負）
 出力端子 ビンジャック

オーディオ出力<2系統>

出力レベル
 アナログ音声出力 200mVrms（1KHz、40%）
 デジタル音声出力 200mVrms（1KHz、-20dB）
 チャンネル数 2チャンネル

デジタル音声特性

周波数特性	4Hz ~ 20KHz
SN比	115dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ	96dB（EIAJ）
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（EIAJ）

LD は EIAJ に準拠

その他の端子

光デジタル出力 光コネクタ
 ドルビーデジタルRF出力（AC-3） ビンジャック
 コントロール入力/出力 ミニジャック（3.5 ）

付属品

リモコンユニット 1
 単4形乾電池（R03） 2
 オーディオコード 1
 ビデオコード 1
 電源コード 1
 取扱説明書、安全上のご注意、保証書、
 ご相談窓口・修理窓口のご案内 各1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』）参照

お客様相談センター ☎ 03 - 3491 - 8181

技術相談窓口 札幌 ☎ 011-644-4779

大阪 ☎ 06-353-3705

仙台 ☎ 022-375-4417

広島 ☎ 082-228-2239

名古屋 ☎ 052-532-1141

福岡 ☎ 092-441-8706

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

LaserDisc レーザーディスクは、パイオニアの商標です。